

Hisense[®]
4K 液晶テレビ
機能操作ガイド

43A65H
50A65H
65A65H

お買い上げいただきましてありがとうございます。
この機能操作ガイドをよくお読みの上、正しくお使いください。

目次

目次.....	1	接続した入力機器の映像を見る	36
共通の操作.....	2	メディアプレーヤーを使う	37
チャンネルを選ぶ	4	メディアプレーヤーで動画を再生する.....	38
デジタル放送を楽しむ.....	6	メディアプレーヤーで写真を見る	40
映像と音の操作	10	HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作する.....	42
文字の入力のしかた.....	12	ネットワーク・サービス設定をする.....	45
番組の視聴予約をする	13	設定メニューについて.....	47
番組の録画、録画予約をする	14	設定メニューから設定をする	48
録画について.....	16	サブメニューについて.....	61
動作確認済 USB ハードディスクについて.....	16	故障かな？と思ったら	62
デジタル放送の著作権保護について.....	16	お問い合わせの前に.....	62
録画するときのご注意.....	16	原因と解決法.....	62
録画した番組を再生する、整理する.....	23	エラーメッセージが表示されたとき.....	68
録画番組をダビング（ムーブ）する.....	29		
インターネットを利用するための設定をする... 30			
動画配信サービスについて	34		

説明のしかたについて

- 本書は、43A65H/50A65H/65A65H で共用です。本書中のイラストは特に断りのない限り、50A65H のイラストで説明しています。他の機種はイメージが多少異なります。
- 本文中の太字は画面に表示される選択項目、カッコ付きの太字はボタン名を表しています。
例)
選択項目：**映像設定** / **録画設定** / **放送受信設定**
ボタン名：**[電源]** / **[入力切換]** / **[決定]**
- 本書のイラスト、画面表示などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

アイコンについて

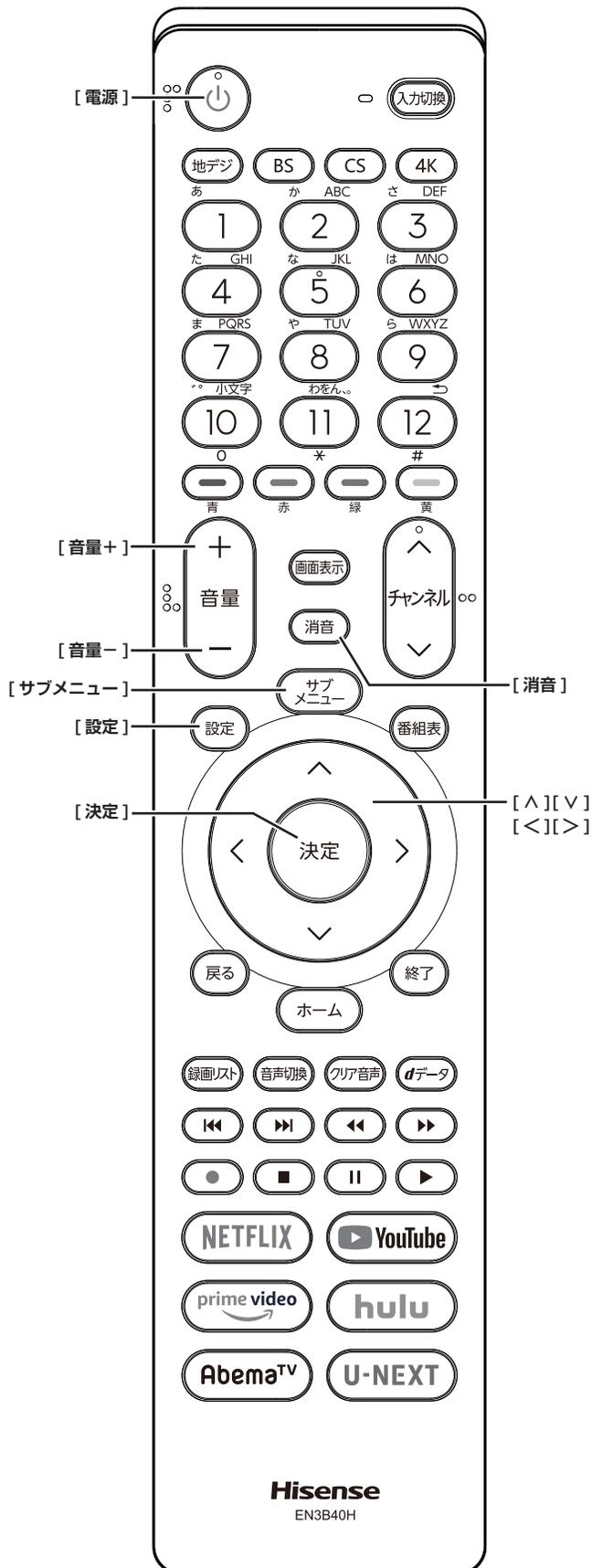
⚠️ ご注意

説明文中で、とくにご注意いただきたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

● 共通の操作



電源を入れる / 切る

電源を入れる

- [電源] を押す
本体の電源ランプが白に点灯します。

電源を切る

- もう一度、[電源] を押す

⚠️ ご注意

- 本機は [電源] を押して電源を切った状態のときは、常に微弱な電流が流れています。旅行など、本機を長時間使用しない場合で、録画予約をしていないときは、本体の電源ボタンで電源「切」にするか、コンセントを抜いて（電源ランプ：消灯）ください。

音量を調節する

- [音量+] / [音量-] を押す

一時的に音を消す

- [消音] を押す

もとに戻すには

- ・ [消音] を再度押す
- ・ [音量+] または [音量-] を押す

時計

画面に時計を表示させます。

- 1 [サブメニュー] を押して、時計を選択する
- 2 時計表示を選択して、[決定] を押す
- 3 [↑] / [↓] で希望の設定（大きいサイズ / 小さいサイズ / オフ）を選択して、[決定] を押す

時計表示を消したい場合は、上記の操作でオフを選択します。

オンタイマー

日時、音量、放送局、チャンネルを指定して電源を自動的に入れることができます。

- 1 [サブメニュー] を押し、**時計**を選択する
- 2 オンタイマーを選択して、[決定] を押す
- 3 オンタイマーを選択し、**オン**にして [決定] を押す
- 4 [↑]/[↓]/[<]/[>] で各項目を設定する
- 5 [電源] を押し、電源を切る

お知らせ

- 本体の電源ボタンで電源を切るとオンタイマーが働きません。リモコンの [電源] で電源を切ってください。

オフタイマー

本機の電源を切るまでの時間を設定します。

- 1 [サブメニュー] を押し、**時計**を選択する
- 2 オフタイマーを選択し、[決定] を押す
- 3 [↑]/[↓] で希望の設定 (**使用しない / あと30分 / あと60分 / あと90分 / あと120分**) を選択して、[決定] を押す
オフタイマー設定中は、もう一度**オフタイマー**を選択して、変更することができます。

お知らせ

- オフタイマー設定後に本体の電源ボタンで電源を切ったり、リモコンの [電源] で電源を切って「待機」にした場合は、設定が取り消されます。

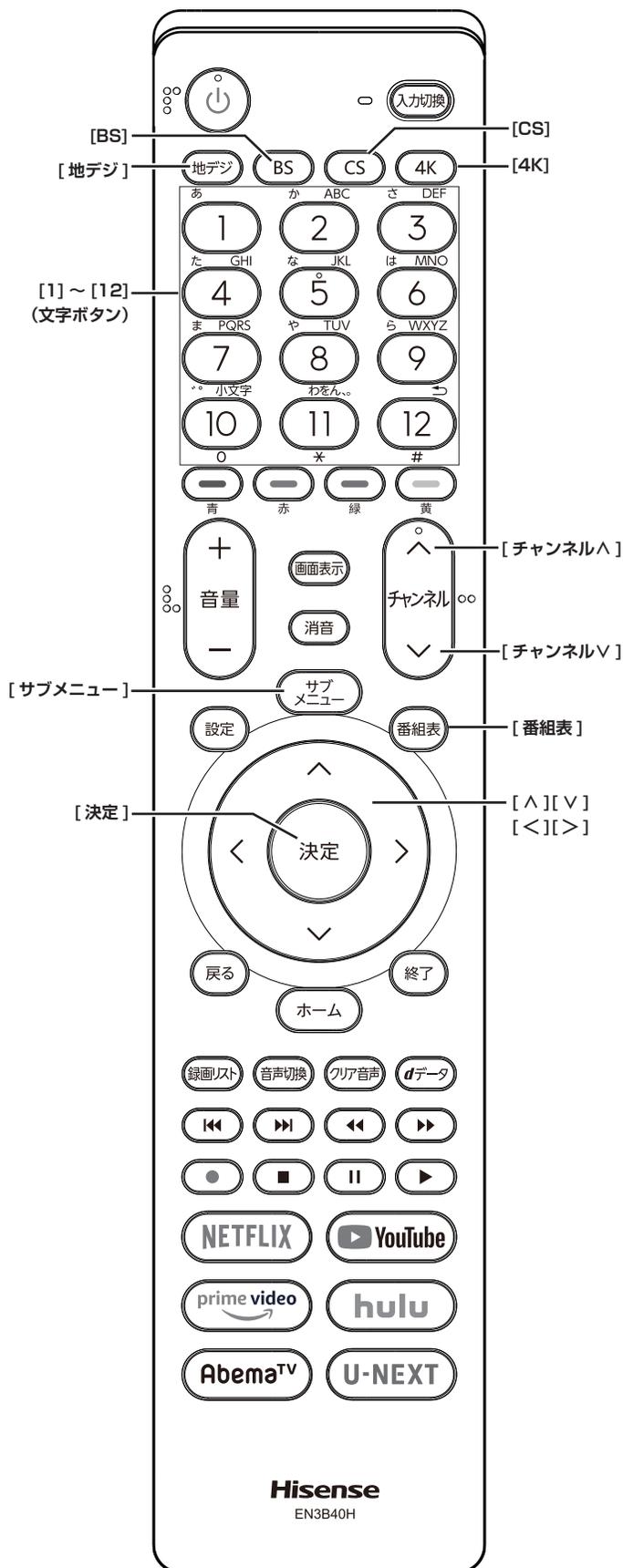
設定メニューについて

- [設定] を押し、設定したい項目が表示されます。
(☞ 47 ページ)

サブメニューについて

- [サブメニュー] を押し、設定したい項目が表示されます。
(☞ 61 ページ)

● チャンネルを選ぶ



お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換などに時間がかかるため、故障ではありません。
- 放送の種類によっては他の機能が追加されている場合があります。この場合、各ボタンの機能はテレビ画面に表示されます。

放送を切り換える

- [地デジ]/[BS]/[CS]/[4K] を押して放送の種類を選ぶ

お知らせ

- BS・110度CSの4K放送については、「BS・110度CSの4K/8K放送」(取扱説明書19ページ)をご覧ください。

ワンタッチ選局ボタンで選局する

(ワンタッチ選局)

- お好みのチャンネルが登録された数字ボタンを押す

お知らせ

- [1] ~ [12] に好みの放送局あるいはチャンネルを割り当てることができます。(56ページ)

チャンネル番号を入力して選局する

(ダイレクト選局)

- 1 [サブメニュー] を押し、[↑]/[↓] でチャンネル番号入力を選択し、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] で放送の種類を選ぶ
画面右上に放送局番号が入力できるようになります。
- 3 お好みの放送局の放送局番号を [1] から [10] までの数字ボタンを押して入力する
[10] は「0 (ゼロ)」として使用します。

お知らせ

- チャンネル番号は番組表で確認できます。

チャンネルハ・チャンネルVで選局する

(順次選局)

- [チャンネルハ]/[チャンネルV] を押して選局する

お知らせ

- 視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
(☞ 56 ページ)

グループを指定して選局する

- 1 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタン ([BS]/[CS]/[4K]) を押すと、選局ガイドが表示される
- 2 選局ガイドが表示中に、見ている放送と同じ種類の放送切換ボタン ([BS]/[CS]/[4K]) を押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わる
- 3 お好みのチャンネル番号の**数字ボタン**を押す

お知らせ

- BS デジタル放送は、グループ A とグループ B があります。
- 110 度 CS デジタル放送は、グループ A ~グループ F があります。
- BS・110 度 CS の 4K 放送は、グループ A ~グループ B があります。

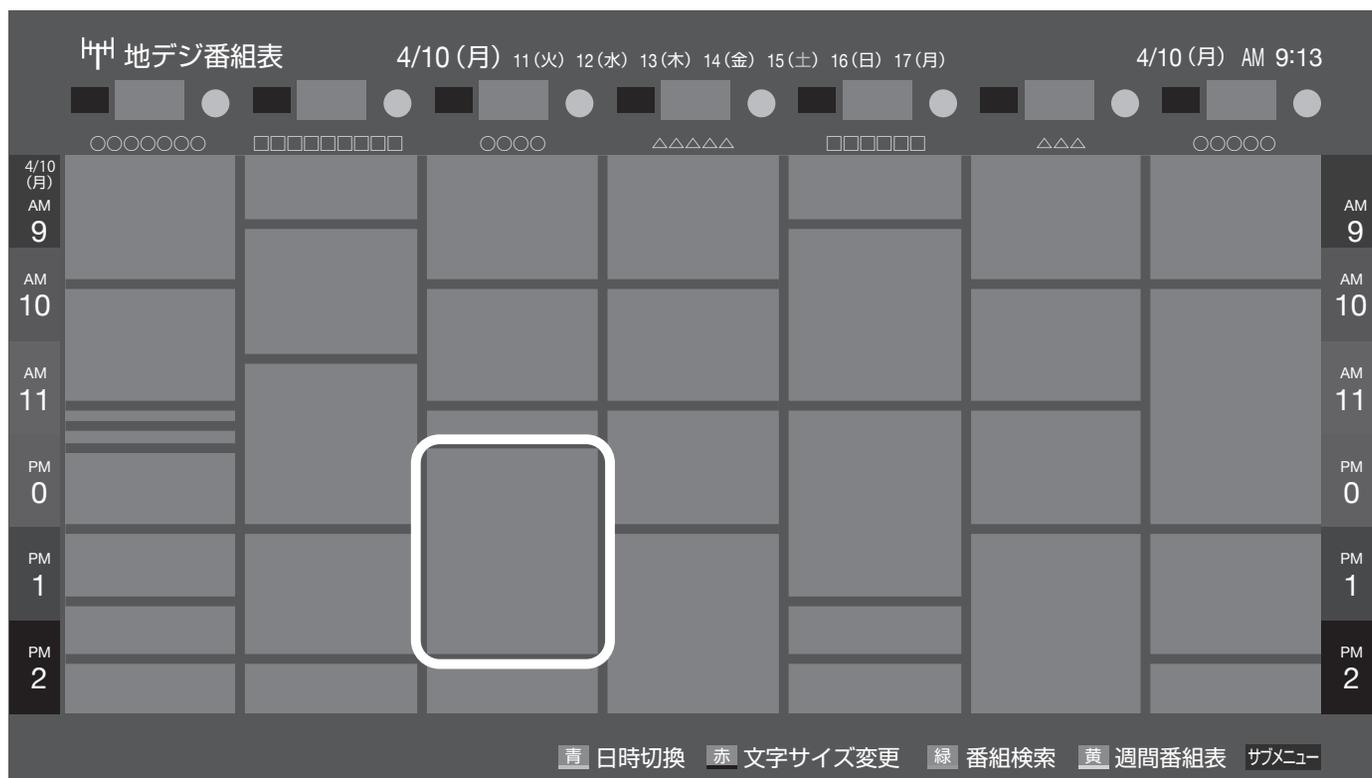
番組表から選局する

- 1 [番組表] を押す
- 2 [<]/[>] を押して現在放送中の見たい番組を選び、[決定] を押す
- 3 「番組指定録画」画面で、番組の内容が表示されるので、確認して**見る**を選択して、[決定] を押す

地上デジタル放送で枝番が異なる放送を選局する

地上デジタル放送では、お住まいの地域以外も受信可能な場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番 (011-2 の「-2」など) で区別して選局できます。

- 「チャンネル番号で選局する」の操作をしたときに、枝番のついた放送一覧が表示されたときは、[ハ]/[V] で放送を選択して、[決定] を押すか、[1] から [10] で枝番を指定する



双方向通信を行う

LAN 接続をしていて、双方向通信が行われているチャンネルを受信すると、双方向通信の画面が表示されます。

[**ハ**]/[**ヴ**]/[**<**]/[**>**] を押して画面を切り換えたり、番組によっては [**青**]/[**赤**]/[**緑**]/[**黄**] を押すことで、放送局へデータ（人気投票、クイズの回答など）を送信することができます。画面に表示される指示に従ってください。

独立データ放送を選局する

- [**サブメニュー**] → その他の操作 → **テレビ / ラジオ / データ切換**に進み、[**ハ**]/[**ヴ**]でデータを選択します。[**チャンネルハ**]/[**チャンネルヴ**]で他のチャンネルに切り換えられます。また、チャンネル番号を入力して選局することもできます。
- 番組表の表示中に、[**サブメニュー**] → **テレビ / ラジオ / データ切換**からデータを選択して、独立データ放送の番組表を表示し、番組を選択することもできます。

番組をさがす

映画やスポーツ、新番組など、ジャンル別に番組を探すことができます。

1 番組表の表示中に [**緑**] を押す

2 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネル、有料番組の条件を入力し、**検索開始**を選択し [**決定**] を押す

検索結果が表示されます。

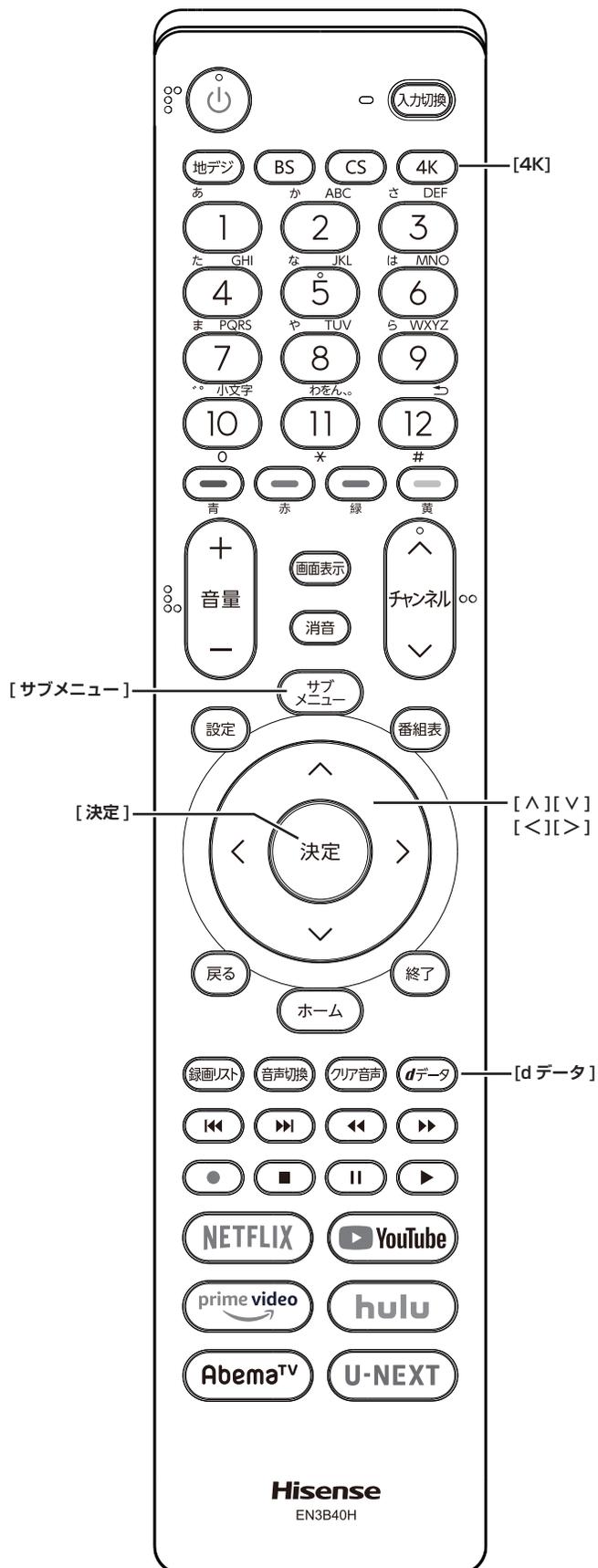
（「**文字の入力のしかた**」 12 ページ）

- [**地デジ**]、[**BS**]、[**CS**]、[**4K**] を押すと、番組検索結果を放送の種類でさらに絞り込みができます。
 - [**青**] を押すと、すべての放送の番組検索結果を表示します。
 - [**黄**] を押すと、選択している番組の説明を表示します。
- 3** 見たい番組を選択し [**決定**] を押すと、番組指定録画面、または番組指定予約画面が表示される
- 視聴予約や録画予約、連ドラ予約などができます。
（ 13 ページ）

お知らせ

- 番組表の表示中に、[**サブメニュー**] → **番組記号一覧**で番組表に使われている番組記号の意味を調べることができます。

デジタル放送を楽しむ (つづき)



番組情報を取得する

番組表の中が空になっているときに番組情報を取得したり、最新の番組情報に更新したりします。

- 1 番組表の表示中に [サブメニュー] を押す
- 2 番組情報の取得を選択して、[決定] を押す

お知らせ

- 番組情報の取得中は映像、音声が出ないことがあります。
- 番組表で選択している放送局の情報が更新されます。(BS デジタル放送は番組表全体が、110 度 CS デジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が、地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。4K 放送では選択したチャンネルを含むグループの情報が更新されます。)

番組表の表示のしかたを換える

- 1 番組表の表示中に [サブメニュー] を押す
- 2 番組表表示設定を選択して、[決定] を押す

■ 表示チャンネル数：

オート、9チャンネル表示、7チャンネル表示、6チャンネル表示、4チャンネル表示に切り換えることができます。表示チャンネル数は放送によって変わることがあります。

■ チャンネル並び順：

通常、チャンネルボタン優先に切り換えることができます。チャンネルボタン優先はワンタッチ選局ボタン [1] から [12] の番号順に並べ替えます。

■ 番組概要表示：

表示する、表示しないに切り換えることができます。

■ 地デジ表示：

視聴チャンネル中央表示、チャンネル順優先表示に切り換えることができます。

1 チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

BS デジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送だけ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）に切り換えることができます。

- 番組表の表示中に、切り換える放送局を選び、**[サブメニュー]** を押し、**1チャンネル表示** または **マルチ表示** を選択する

ジャンル別に色分けする

番組のジャンル（分野）別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。

- 1 番組表の表示中に **[サブメニュー]** を押す
- 2 ジャンル色分けを選択して、**[決定]** を押す
- 3 **[^]/[v]** で設定する色を選択し、**[^]/[v]/[<]/[>]** でジャンルを選択して、**[決定]** を押す
- 4 **設定完了** を選択し、**[決定]** を押す

BS・110度CSの4K放送を見る

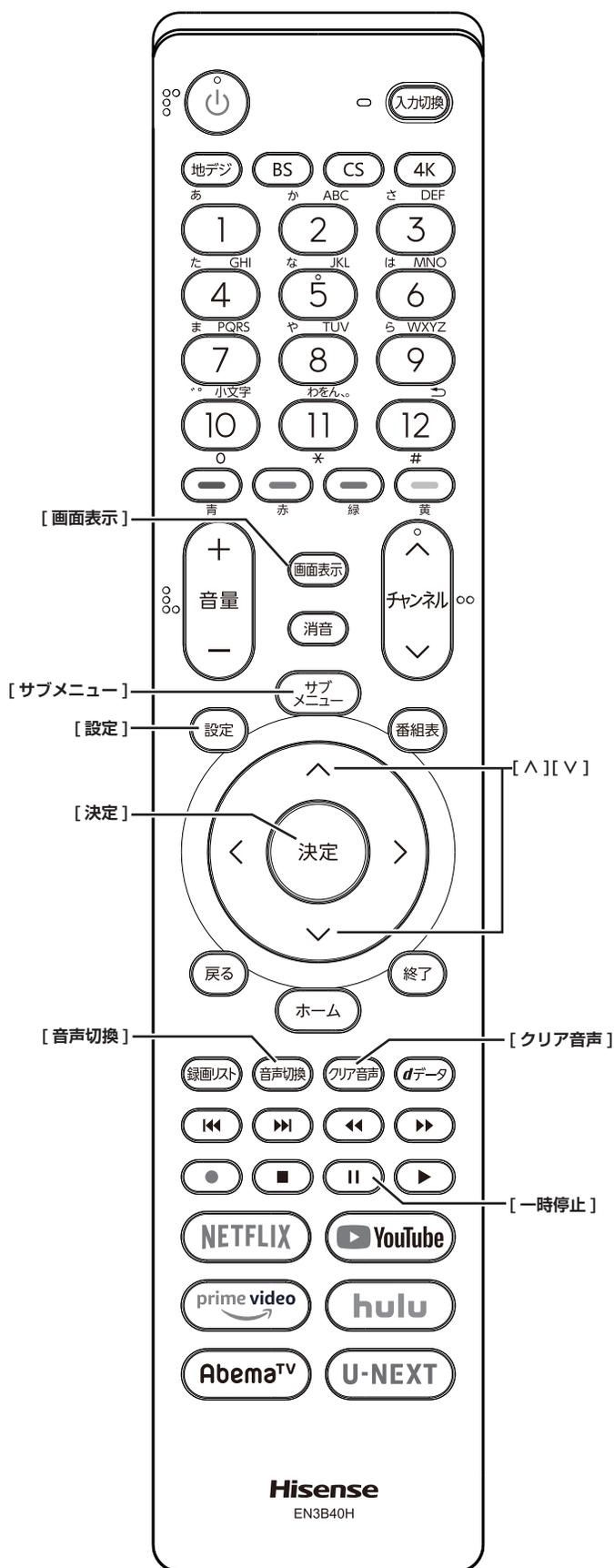
本機は「BS・110度CSの4K/8K放送」のうち「BS・110度CSの4K放送」に対応しています。

- **[4K]** を押し、BS・110度CSの4K放送を選択する

お知らせ

- BS・110度CSのアンテナやブースターなどの機器や配線の交換が必要になる場合があります。

映像と音の操作



チャンネル情報を表示する

チャンネル情報を表示させます。

- [画面表示] を押す

もう一度 [画面表示] を押すと、表示が消えます。

画面サイズを切り換える

画面の縦横比をフル、HDズーム、HDスーパーライブなど（放送、外部入力によって変わります。）の中から切り換えます。

- [サブメニュー] → 画面サイズ切換を選択して切り換えます。（☞ 61 ページ）

▶ が表示されたときは以下の切り換えができます。

- ジャストスキャン：

16:9 の映像が画面内に収まるように表示させます。

- オーバースキャン：

16:9 の映像を少し大きめに表示させます。

映像メニューを切り換える

- 1 [設定] を押し、映像設定を選択し映像メニューを選択して、[決定] を押す
- 2 [へ]/[∨] を押し、自動、ダイナミック、スタンダード、スポーツ、アニメ、映画など（放送、外部入力によって変わります。）のいずれかを選択して、[決定] を押す

字幕の表示、非表示を切り換える

- 1 [サブメニュー] を押す
- 2 字幕を選択して、[決定] を押す
- 3 字幕オン、字幕オフのいずれかを選択して、[決定] を押す

お知らせ

- 字幕の無い番組では字幕を選択しても字幕は表示されません。また選択した言語がない場合には、別の言語の字幕が表示される場合があります。例えば、英語字幕のみの番組や日本語字幕＋英語字幕の番組で英語字幕を選択した後、日本語字幕のみの番組を視聴すると日本語字幕が表示されます。

文字スーパーを切り換える

- 1 [設定] を押し、放送受信設定を選択して、データ放送設定を選択する
- 2 文字スーパー表示を選択し、する、しないのいずれかを選択して、[決定] を押す（☞ 55 ページ）

文字スーパー言語を切り換える

- 1 [設定] を押し、**放送受信設定**を選択して、**データ放送設定**を選択する
- 2 **文字スーパー言語**を選択し、優先して表示する言語を選択して、[決定] を押す
(☞ 55 ページ)

お知らせ

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送がない場合は、その放送に従って表示されます。

放送中の画面を静止する

放送番組の視聴中に画面を静止させることができます。
(音声は放送中の状態のまま)

- [II] (一時停止) を押す
もう一度 [II] (一時停止) を押すと、放送中の画面に戻ります。

お知らせ

- 視聴予約が開始されると静止は解除されます。

映像を切り換える

デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声がある場合があります、お好みで選択することができます。

- [サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → **映像信号切換**を選択して切り換えます。(☞ 61 ページ)

お知らせ

- 映像の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる映像があるときのみ、切り換えできます。

音声を切り換える

複数の音声で放送されている番組の場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り換えることができます。

- [音声切換] を押す

お知らせ

- サブメニューの音声信号切換でも音声の切り換えができます。
- 音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる音声があるときのみ、切り換えできます。

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。

- [サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → **音多切換**を選択して切り換えます。(☞ 61 ページ)

お知らせ

- 音声の名称が放送局から送られている場合は、その名称を表示します。
- 切り換えできる音声があるときのみ、切り換えできます。

声を聞き取りやすくする

人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

- [クリア音声] を押す
もう一度、押すと、**オフ**になります。

お知らせ

- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

降雨対応放送について

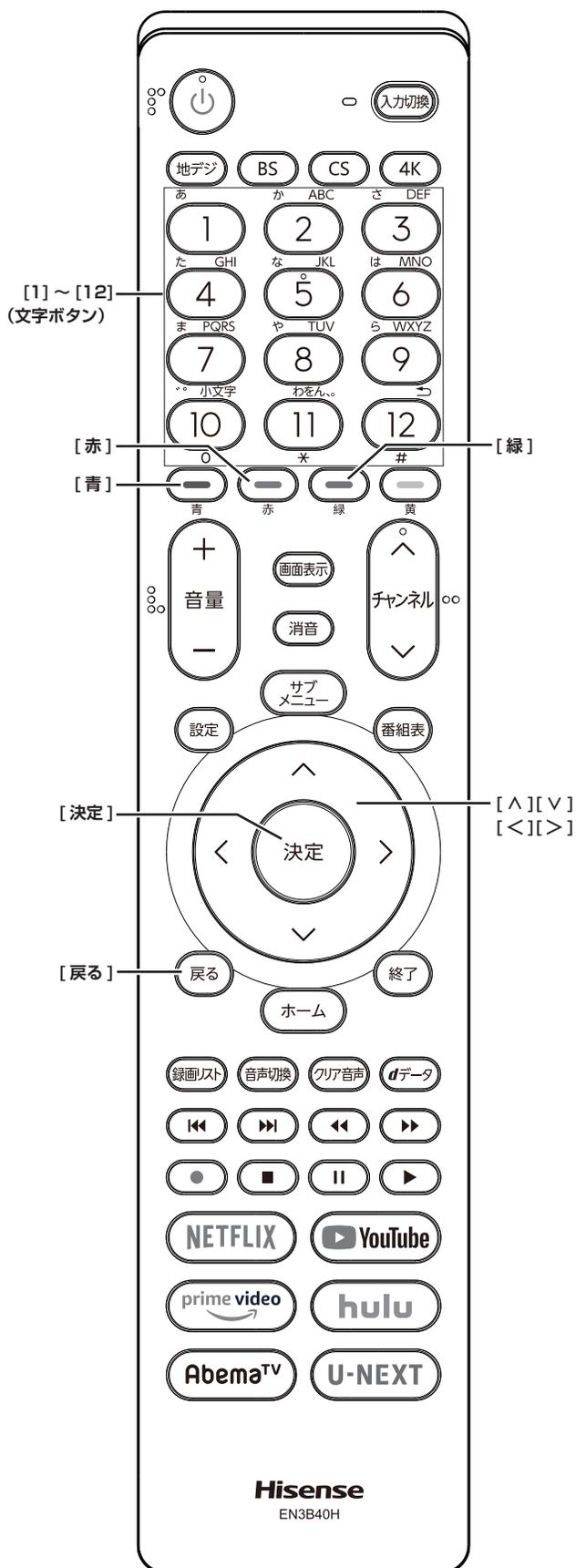
BS デジタル放送や BS の 4K 放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

- [サブメニュー] → その他の操作 → 信号切換 → **降雨対応放送切換**を選択して切り換えます。
(☞ 61 ページ)

お知らせ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

● 文字の入力のしかた



- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。
- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

1 [1] ~ [12] で文字を入力する

- ・ 文字に続けて [10] を押せば、濁点(°)や半濁点(°)の入力および小文字変換ができます。
- ・ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に [>] を押します。
- ・ [青] (文字切替) を押すと、入力文字の種類を変えることができます。
- ・ 文字を挿入するには、挿入する場所を [^]/[v]/[<]/[>] で選んで入力します。
- ・ [緑] を押すと、スペースを入れることができます。
- ・ [赤] を押すと、1文字削除します。続けて押すと文字をまとめて削除することができます。

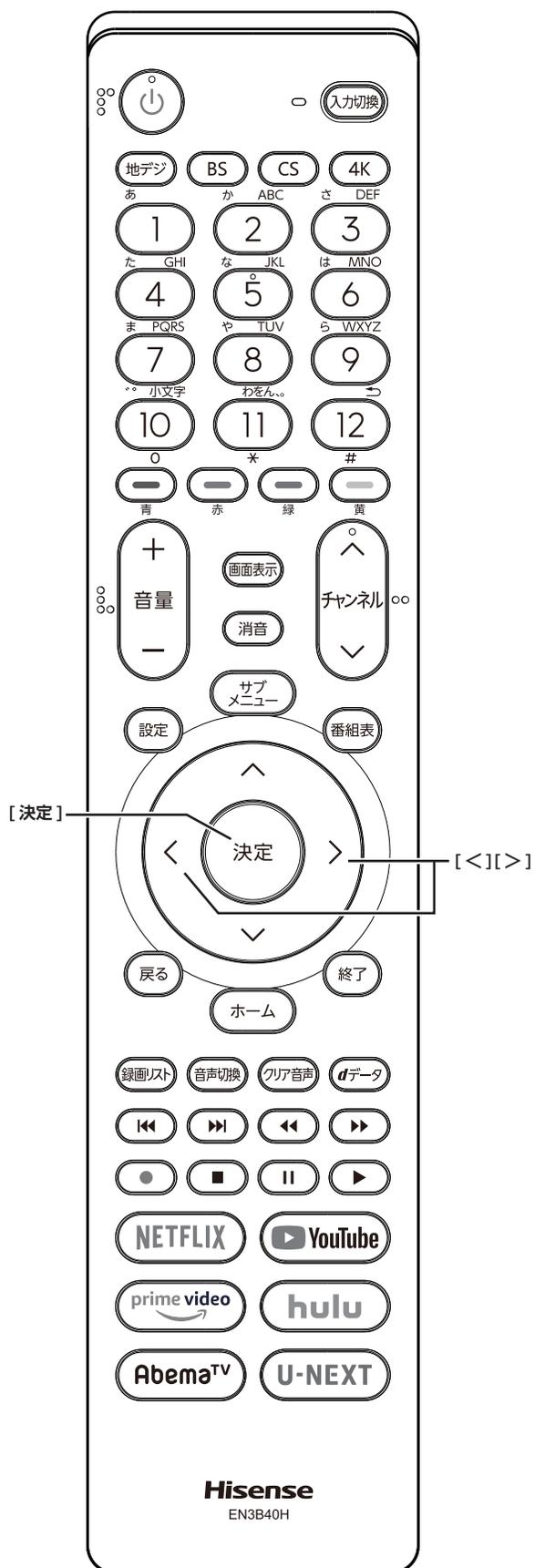
2 漢字変換しないときは [決定] を押す

- ・ 漢字に変換するときには、[v] を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら [決定] を押す

お知らせ

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が **全角記号**、**半角記号** のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。
- 確定せずに変換できるのは 4 文節までです。4 文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時に [戻る] を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● 番組の録画、録画予約をする



USB ハードディスクを登録する

- 本機で USB ハードディスクに録画した映像は、他の機器での再生はできません。（本機と同じ型番でも再生できません。）
- 他の機器で使用すると、再フォーマットが必要となり録画した番組がすべて削除されます。
- 故障で本機を修理した場合などは、USB ハードディスクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- 本機が対応している USB ハードディスクの容量（公称値）は 8TB までです。

本機に未登録の USB ハードディスクを接続すると、登録画面が表示されます。

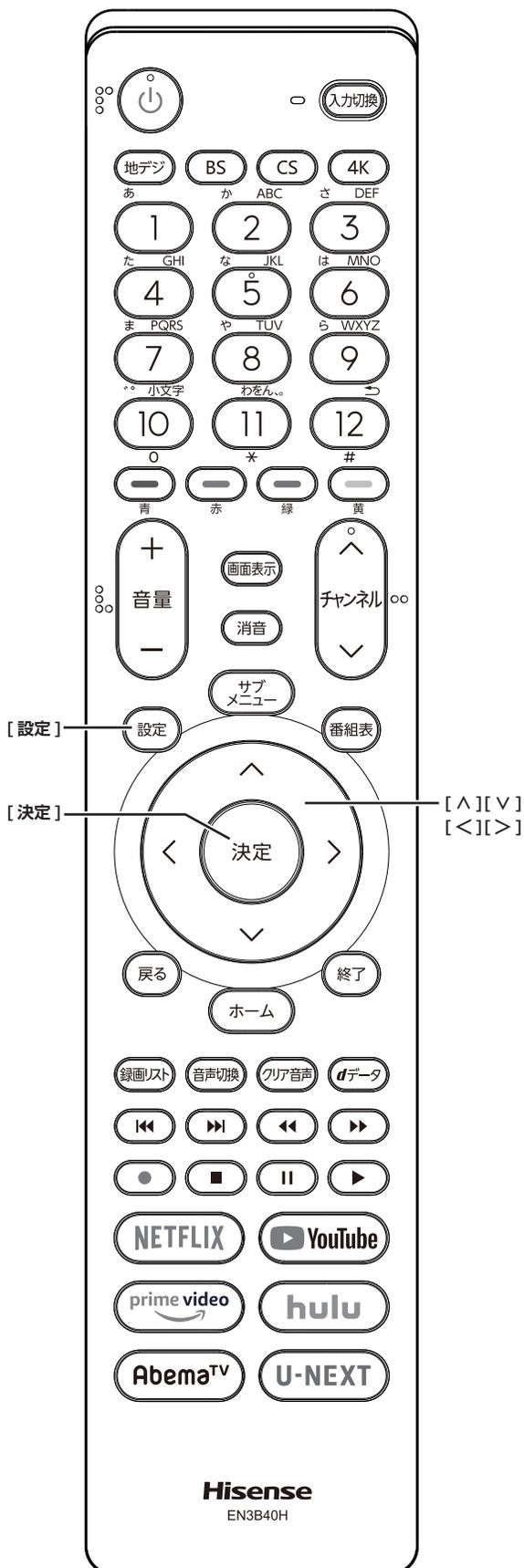
- 1 登録確認のメッセージが表示されたら、**はい**を選択して、**[決定]**を押す
- 2 フォーマットに関する確認メッセージが表示されたら、**はい**を選択して、**[決定]**を押す
USB ハードディスクをフォーマット（初期化）し、登録します。
- 3 登録名変更の画面が表示されたら、**はい**または**いいえ**を選択して、**[決定]**を押す
- 4 登録した USB ハードディスクを録画機器にする場合は、**はい**を選択して **[決定]**を押す

お知らせ

- USB ハードディスクの登録名をお好みにより変更することができます。（📖 52 ページ）

登録を確認するには

- **[設定]** を押し、**録画・再生設定** を選択し、**通常録画用 USB ハードディスク設定** を選択し、**機器の登録** を選択して、**[決定]** を押す
USB ハードディスクの登録状況や、接続状況が一覧で表示されます。



USB ハードディスクを取りはずす

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、必ず先に以下の操作を行ってください。

- 1 [設定] を押し、録画・再生設定→通常録画用 USB ハードディスク設定→機器の取りはずしを選択して、[決定] を押す
- 2 接続しているUSBハードディスクを選び、[決定] を押す
- 3 はいを選び、[決定] を押す
「USBハードディスクを取りはずしできます。」と表示されたら、[決定] を押す。接続ケーブルを抜くか、電源を切っても安全です。

USB ハードディスクの登録を解除する

- 1 [設定] を押し、録画・再生設定→通常録画用 USB ハードディスク設定→機器の登録を選択して、[決定] を押す
 - 2 接続しているUSBハードディスクを選び、[赤] を押す
- 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき：録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき：再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

お知らせ

- 登録を解除したUSBハードディスクの番組は再度登録すると、再生できます。
- 再度登録するには、一度USBハードディスクを取りはずし、もう一度接続し直すか、本機の電源を一度切り、再度電源を入れると登録画面が表示されます。

省エネ設定

- 1 [設定] を押し、録画・再生設定→通常録画用 USB ハードディスク設定→省エネ設定を選択して、[決定] を押す
- 2 オンまたはオフを選択して、[決定] を押す
 - オン:USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
 - オフ:本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態になります。

番組の録画、録画予約をする (つづき)

お知らせ

- 「省エネモード」に設定した場合、USB ハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「—時間—分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。

動作テスト

- [設定] を押し、録画・再生設定→通常録画用 USB ハードディスク設定→動作テスト→テストする機器を選び、[決定] を押しテストが始まります。終了までに数分間かかります。

■ 録画：

4K 画質で録画ができるか

■ 録画中の再生：

4K 画質で録画しながら 4K 番組の再生ができるか

■ 録画中の早見早聞：

4K 録画中にハイビジョン番組の「早見早聞」(👉 24 ページ) ができるか

お知らせ

- テスト結果は目安です。結果どおりに動作しないことがあります。

機器の初期化

正常に使用できなくなった USB ハードディスクは、初期化をすれば使用できる場合があります。

- [設定] を押し、録画・再生設定→通常録画用 USB ハードディスク設定→機器の初期化→初期化する機器を選び、[決定] を押し

ご注意：初期化をすると、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

録画について

万一、何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、内容(データ)の保証や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

放送画質と録画時間		
	HDD 容量 1TB	HDD 容量 2TB
地上デジタル放送 HD	HD 最大 (17Mbps) だけを録画する場合：約 125 時間	HD 最大 (17Mbps) だけを録画する場合：約 251 時間

BS・110度 CS デジタル放送 HD	HD 最大 (24Mbps) だけを録画する場合：約 88 時間	HD 最大 (24Mbps) だけを録画する場合：約 177 時間
BS・110度 CS 4K 放送番組	4K 最大 (33Mbps) だけを録画する場合：約 64 時間	4K 最大 (33Mbps) だけを録画する場合：約 129 時間

- ※録画時間は USB ハードディスクによって異なります。
- ※録画時間は目安であり、放送のレートや設定条件によって変わります。

動作確認済 USB ハードディスクについて

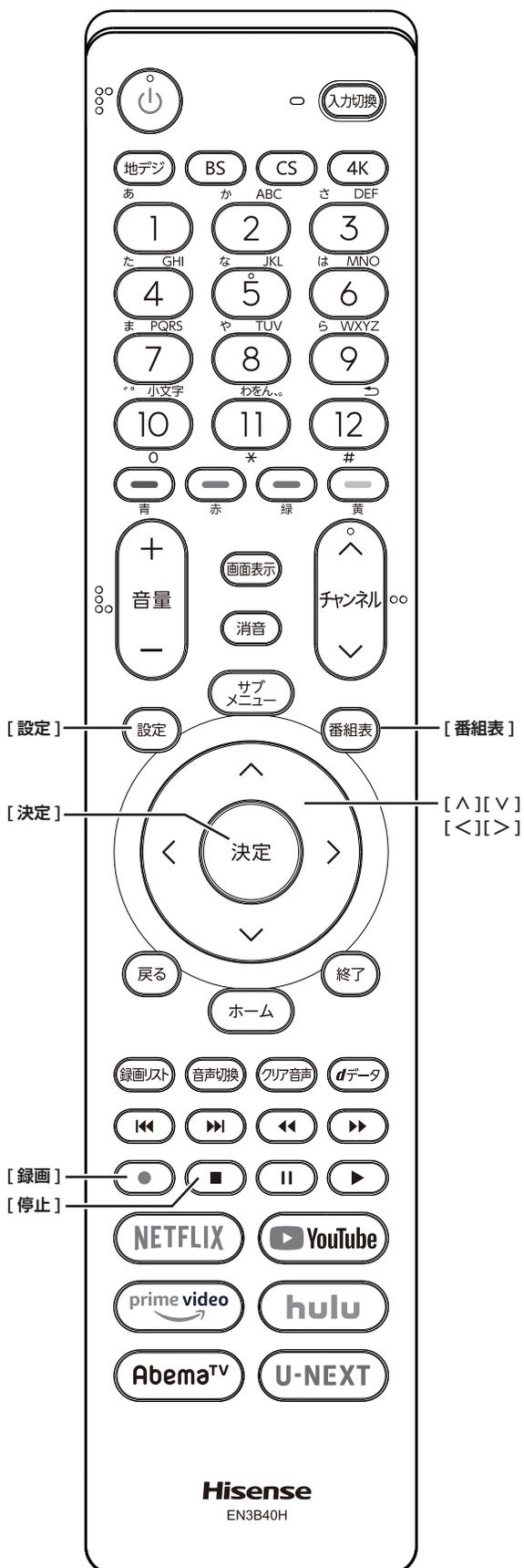
- ※最新の情報については、ハードディスクメーカーのホームページをご確認ください。

デジタル放送の著作権保護について

- 本機では著作権保護により、コピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

録画するときのご注意

- 電源を押してから、USB ハードディスクが起動するまで、USB ハードディスクに録画したり、入っている録画番組にアクセスすることはできません。
- 本機は、ラジオ放送、独立データ放送の録画はできません。
- 録画を一時停止することはできません。
- テレビ放送に連動したデータ放送は録画されません。
- デジタル放送の受信状態が悪い(画面がきちんと表示されない、音声がとぎれる)場合、録画を行うと、番組の先頭部分や途中部分が切れたりすることがあります。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると、録画が停止します。
- 保存できる録画番組の数は、USB ハードディスク 1 台あたり最大 3,000 個です。
- 停電などで録画が中断した場合、録画された番組を正しく再生できない場合があります。録画番組の修復を行うと、再生できる場合があります。(👉 26 ページ)



録画に使用する機器を設定する

複数の USB ハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

- 1 [設定] を押し、録画・再生設定を選択し、録画設定を選択し、録画先機器の設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押し、録画に使用する機器を選択して、[決定] を押す

録画先機器の設定

USB 1		ハードディスク 1
USB 2		ハードディスク 2
USB 3		ハードディスク 3

チャプター分割のしかたを設定する

シーンの変わり目でチャプター分割（章分け）されるように設定できます。（チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります）

- 1 [設定] を押し、録画・再生設定を選択し、録画設定を選択し、マジックチャプター設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押し、チャプター分割の場面を選択して、[決定] を押す

- **本編：**
本編と CM の間でチャプター分割されます。
- **音楽：**
楽曲の前後でチャプター分割されます。
- **本編と音楽：**
上記の両条件でチャプター分割されます。
- **オフ：**
チャプター分割をしません。

お知らせ

- 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

番組の録画、録画予約をする (つづき)

見ている番組を録画する

今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。

4K 録画中は、録画中の番組のみ視聴できます。

- [録画] を押し、はいを選択して、[決定] を押す

録画が開始され、番組が終了するまで継続されます。リモコンで本機の電源を切っても、録画を続けます。

録画を途中でやめる

- 1 [停止] を押す
- 2 録画中止の確認画面ではいを選択して、[決定] を押す

見ている番組で設定を変更して録画する

- 1 [録画] を押す
- 2 [^]/[v]/[<]/[>] で各項目を選択し、はいを選択して、[決定] を押す

- 録画先：
複数台 USB ハードディスクを接続しているとき、録画に使用する USB ハードディスクを選択します。
- マイフォルダ：
家族などで共用するときなど、フォルダに分けて録画した番組を保存管理することができます。
- その他の録画設定：
 - ・録画時間：番組終了 / 時間指定 (終了時間を設定できます。)
 - ・マジックチャプター：
本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフする / しない
 - ・保護：
録画する番組を保護する ((消さないようにする)) かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。(27 ページ)

番組を探して録画予約する

まだ放送が始まっていない番組を録画予約することができます。予約できる番組は最大で 128 番組です。

- 1 「番組表」(6 ページ) から、予約したい番組を選び [決定] を押す



- 2 録画予約を選択して、[決定] を押す

赤い「●」マークと赤い線が録画予約した番組に付きます。

お知らせ

- USB ハードディスクに電源ボタンがある場合は、電源を「入」にしてください。
- USB ハードディスクの残量が足りない場合は録画できません。事前に確認してください。
- 録画予約実行中に [停止] を押すと、途中で録画を中止することができます。
- 録画中はリモコン、または本体の電源を押して「待機」にしても録画を続けます。電源プラグはコンセントから絶対に抜かないでください。
- 予約番組が重なっていると予約重複のメッセージを表示します。はいを選択して、[決定] を押すと「重複予約確認 / 取り消し」の画面が表示されます。取り消したい番組を選択して、[決定] を押し、[赤] を押すと、選択した番組の予約の取り消しができます。
- 外部入力からの映像 (番組) は録画できません。



番組の録画、録画予約をする (つづき)

予約日時を変更する

再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。

- 1 「番組表」(👉 6 ページ) から、予約したい番組を選び、[決定]を押す
- 2 予約日時変更を選択して、[決定]を押す
- 3 メッセージが表示されたら[<]/[>]ではい選択して、[決定]を押す
- 4 [^]/[v]/[<]/[>]で日時を設定して、[決定]を押す
- 5 録画予約を選択して、[決定]を押す

マルチ表示の番組表で予約する

一つの放送局で別の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「マルチ表示」に切り換えます。(👉 9 ページ)

マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

日時を指定して録画予約する

- 1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定]を押す
- 2 [青] を押す
- 3 [^]/[v]/[<]/[>]で日時を設定して、[決定]を押す
- 4 [^]/[v]/[<]/[>]で放送の種類、テレビ/データ、チャンネルを設定して、次へ進むを選択して、録画予約を選択して、[決定]を押す

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。

番組を検索して録画・予約をする

- 1 [番組表] を押して、[緑] を押す
番組検索画面が表示されます。
- 2 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネル、有料番組の条件を入力し、検索開始を選択し[決定]を押す
検索結果が表示されます。
 - ・ [地デジ]、[BS]、[CS]、[4K] を押すと、番組検索結果を放送の種類でさらに絞り込みができます。
 - ・ [青] を押すと、すべての放送の番組検索結果を表示します。
 - ・ [黄] を押すと、選択している番組の説明を表示します。
- 3 録画・予約したい番組を選択し[決定]を押す

予約の設定を変更する

- 1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定]を押す
- 2 [^]/[v]で設定を変更したい番組を選択して、[決定]を押す
- 3 [^]/[v]/[<]/[>]で各項目を選択し、いいえを選択して、[決定]を押す

■ 録画先:

複数台 USB ハードディスクを接続しているとき、録画に使用する USB ハードディスクを選択します。

■ マイフォルダ:

家族などで共用するときなど、フォルダに分けて録画した番組を保存管理することができます。

■ その他の録画設定:

・ 放送時間: 連動する / 連動しない

・ マジックチャプター:

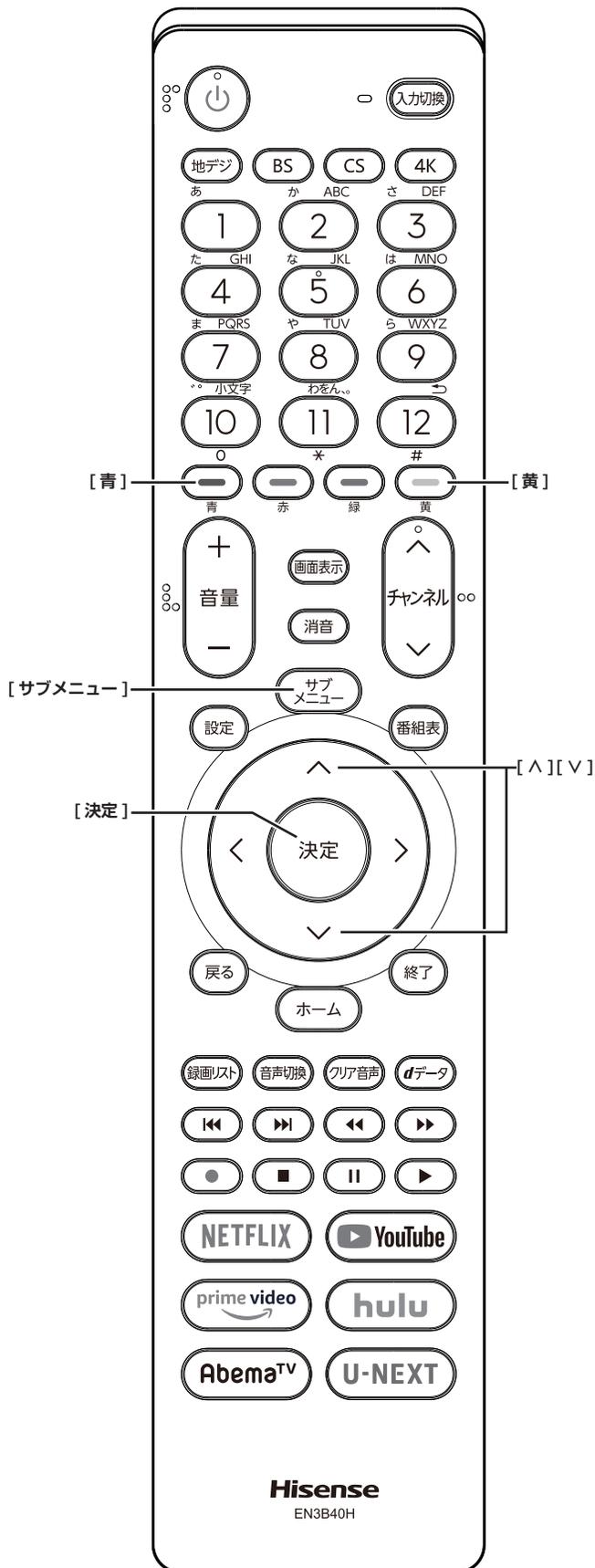
本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ

・ 保護: する / しない

(録画する番組を保護する ((消さないようにする)) かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。) (👉 27 ページ)

お知らせ

- 連ドラ予約の変更の場合は、その他の録画設定の内容が上記とは異なります。(👉 19 ページ)



予約の確認、取り消しをする

- 1 [サブメニュー] を押し、予約リストを選択して、[決定] を押す
予約が確認できます。

予約リスト		4/10 (月) AM 9:40	
予約番組	録画先		
1 地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) AM 9:45~AM 9:58	USB1	
6 地デジ061 TBS	4/10(月) AM10:00~AM10:55	USB1	
8 地デジ041 フジテレビジョン	4/10(月) PM 1:30~PM 1:55	USB1	
1 地デジ011 NHK総合東京	4/10(月) PM 7:00~PM 8:45	USB1	
5 地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 7:15~PM 8:55	USB1	
2 地デジ021 NHK Eテレ東京	4/10(月) PM 7:30~PM 7:54	---	
4 地デジ041 日本テレビ	4/10(月) PM 7:55~PM 8:55	---	
5 地デジ051 テレビ朝日	4/10(月) PM 9:00~PM 9:55	---	

- 2 [^]/[v] を押して、予約した番組を選択する

- 3 [決定] を押し、はいを選択して、[決定] を押すと予約の取り消しができる

- [黄] を押すと、番組説明が表示されます。
- [青] を押すと、新規の日時指定予約ができます。

お知らせ

- 番組表から、予約登録した番組を選択して、予約削除をすることもできます。
- 録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

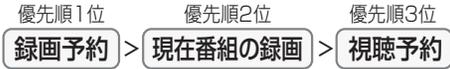
  : 予約時間が重複する番組があると、重複アイコンが表示されます。

  : 放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。

番組の録画、録画予約をする (つづき)

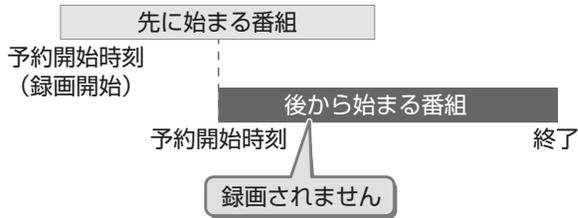
予約・録画の優先順位について

- 録画予約が最優先されます：
録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



- 予約時間の一部が重なっているとき：
予約録画が重なった場合後発の予約は実行されません。
先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

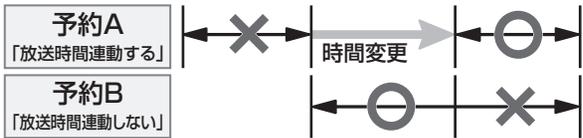
予約開始時刻の早い番組を優先



- 放送時間が変更されたとき：
予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

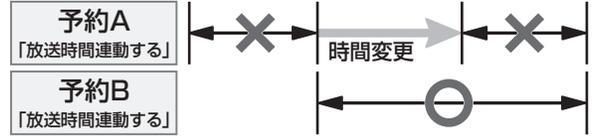
- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。



「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

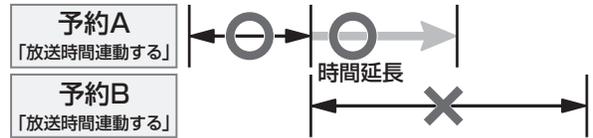
① 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



② 放送時間が延長された場合

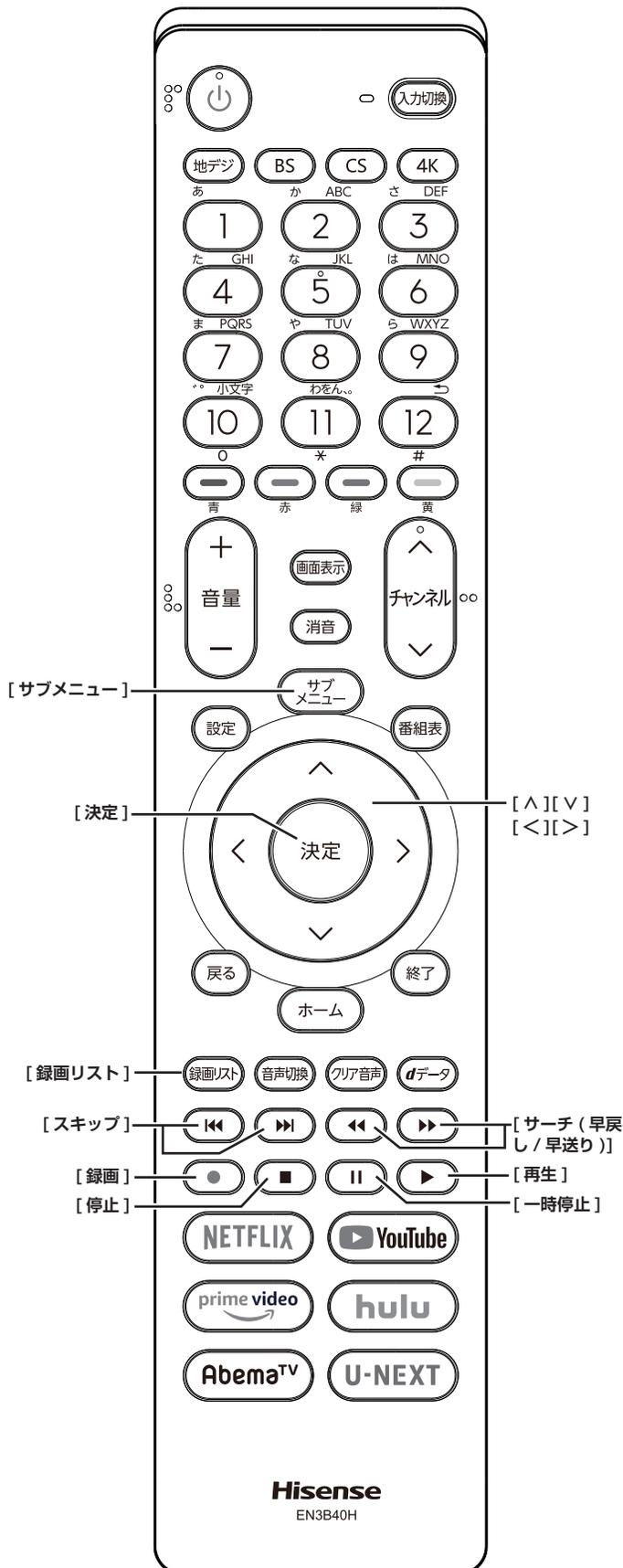
- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。
例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



③ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

● 録画した番組を再生する、整理する



録画した番組を再生する

録画した番組を一覧画面で表示して選択することで、再生することができます。

1 [録画リスト] を押す

2 [↑]/[↓]/[<]/[>]/[◀]/[▶] を押し、再生したい録画番組を選択して、[決定] を押す

再生が開始されます。再生を停止する場合は、[停止] を押します。放送画面などに戻ります。

■ [◀]/[▶] を押すと、分類タブを切り換える

- ・ **すべて**：すべての録画番組が表示されます。
- ・ **未視聴**：未再生の録画番組が表示されます。
- ・ **曜日別**：録画した曜日ごとに表示されます。
- ・ **ジャンル別**：ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- ・ **連ドラ別**：連ドラ予約の予約ごとに表示されます。
- ・ **マイフォルダ別**：指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

■ [<]/[>] を押すと、グループタブを切り換える

お知らせ

- 分類が「すべて」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 録画リストに表示できる最大数は、3000 件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。

番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

1 [録画リスト] を押す

2 [↑]/[↓]/[<]/[>]/[◀]/[▶] を押し、再生したい録画番組を選択する

3 [サブメニュー] を押し、頭出し再生を選択して、[決定] を押す

番組を録画しながら再生する

録画中の番組を、録画しながら再生することができます (追いかけ再生)。

- [↑]/[↓] を押して、録画中の番組を選び、[決定] を押す



録画した番組を再生する、整理する (つづき)

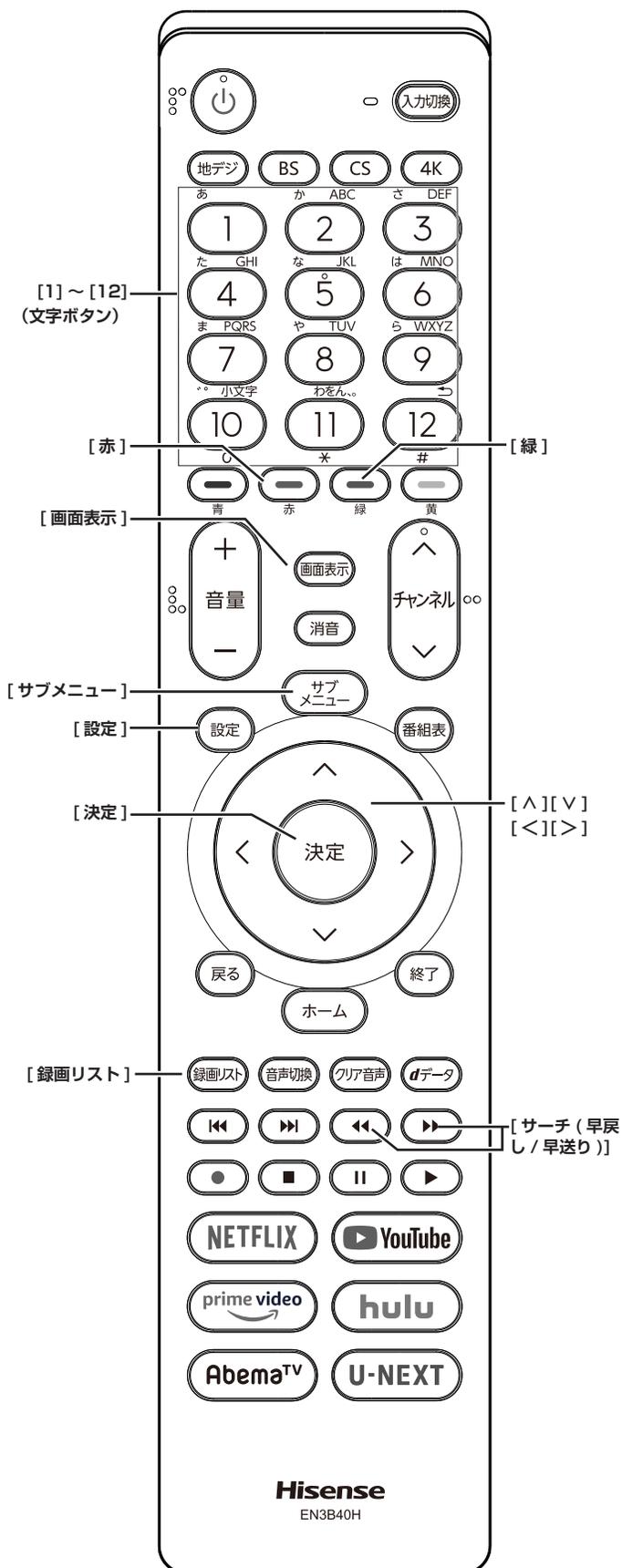
録画リスト (例)

The screenshot shows a recording list interface with various controls and information. Callouts point to the following elements:

- 分類タブ**: Category tabs (すべて, 未視聴, 曜日別, ジャンル別, 連ドラ別, マフォルダ別).
- グループタブ**: Group tabs (スポーツ, ワイドショー, ドラマ, 音楽, パラエディ).
- 使用中の機器**: Storage device selection (USB1, ハードディスク1).
- 選択中の録画番組が再生画面に表示されます。**: Selected recording program is displayed on the playback screen.
- 選択中の録画番組の情報**: Information for the selected recording program (e.g., NHK総合・東京, 2017/4/10(月) PM 9:00 (01:58)).
- 自動削除機能が有効のときに表示**: Automatic deletion function status (自動削除).
- 機器の情報**: Device information (録画可能時間: 50時間22分(HD), 36時間38分(BS/CS 4K), 残量: 46%).
- 操作ガイド**: Operation guide (リスト切換, ハードディスク選択(機器選択), 削除, チャプター一覧, 真ダビング, リカニュー).
- 選んだ番組の番号/録画番組数**: Selected program number/recording program count (e.g., CS 301 4/10(月)).
- 番組の並び順**: Program order (2/30 新しい順).
- 放送日**: Broadcast date (e.g., 4/10(月)).
- 録画中アイコン**: Recording in progress icon (NEW).
- 未再生の番組**: Unrecorded program icon (NEW).
- 上書きアイコン**: Overwrite icon (G).
- コピー制御アイコン**: Copy control icon (9).
- 各マイフォルダのアイコン**: My folder icons.
- 保護アイコン**: Protection icon (lock symbol).

いろいろな再生のしかた

ある場面を止めてみる	再生中に【II】(一時停止)を押す	もとに戻すには、【II】(一時停止)を押すか、【再生】を押します。	0.5 秒戻し	一時停止中に【◀◀】を押す	番組によっては、戻る時間が大きくなる場合があります。
「早見早聞再生」(1.5 倍速)	再生中に【再生】を押す	もとに戻すには、【再生】を押します。	連続コマ戻し	一時停止中に【◀◀】を1秒以上押し続ける	連続コマ戻し再生になります。もとに戻すには【再生】を押します。
早送り再生	再生中に【▶▶】を押す	押すたびに早送り速度が速くなります。(4段階) もとに戻すには【再生】を押します。	次のチャプターの先頭から見る	再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に【▶▶】を押す	押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。(チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。)
コマ送り	一時停止中に【▶▶】を押す	もとに戻すには【再生】を押します。	前のチャプターの先頭から見る	再生中、一時停止中、早送り、早戻し中に【◀◀】を押す	押した回数だけチャプターマークのある場面に飛び越して再生します。(チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。)
スロー再生	一時停止中に【▶▶】を1秒以上押し続ける	押すたびにスロー再生の速度が速くなります。(3段階) もとに戻すには【再生】を押します。	20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップ	再生中に【<】/【>】を押す	再生中に押すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。
早戻し再生	再生中に【◀◀】を押す	押すたびに早戻し速度が速くなります。(4段階) もとに戻すには【再生】を押します。	録画リストを表示する	再生中に【録画リスト】を押す	-



「チャプター一覧」画面で場面を選んで再生する

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [△]/[▽]/[<]/[>]/[◀]/[▶] を押し、再生したい録画番組を選択する
- 3 [緑] を押す
チャプター一覧画面が表示されます。
• [緑] を押すと、リスト表示に戻ります。
- 4 [△]/[▽]/[<]/[>] を押し、再生したい場面を選択して、[決定] を押す
選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

- 1 再生中に [サブメニュー] を押し、サーチを選択して、[決定] を押す
- 2 [1] ~ [10] で冒頭からの時間を指定する
【例】1時間25分5秒後は [10]、[1]、[2]、[5]、[10]、[5] の順に押します。

見たい録画番組を探して再生する

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、番組検索を選択して、[決定] を押す
- 2 [<]/[>] で検索するグループのタブを選択する
- 3 ジャンル、キーワード、番組記号、日付、チャンネルの条件を入力し、検索開始を選択し [決定] を押す
- 4 見たい録画番組を選び、[決定] を押す

繰り返し再生の設定を変える

録画番組の繰り返し再生（リピート再生）を設定することができます。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、再生設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [△]/[▽] で項目を選択して、[決定] を押す
 - 1 コンテンツリピート：
選択した一つの番組の再生を繰り返します。



録画した番組を再生する、整理する（つづき）

■ リピート:

すべての番組の連続再生を繰り返します。

■ オフ:

繰り返し再生をしません。

お知らせ

- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。
(1 コンテンツリピート: 1、リピート: )
- 録画中の番組はリピート再生ができません。

録画番組の情報を見る

- 再生中に [画面表示] を押す
再生中の番組の情報が表示されます。もう一度押すと、表示は消えます。

録画番組の番組説明を見る

- 録画リスト表示中、または再生中に [サブメニュー] を押し、**番組説明**を選択して、[決定] を押す
番組説明画面が表示されます。

録画番組を修復する

録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

- 1 [設定] を押し、**録画・再生設定**を選択し、**通常録画用 USB ハードディスク設定**を選択し、**録画番組の修復**を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押し、番組を修復する機器を選択して、[決定] を押す
- 3 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- 4 「録画番組を修復しました。」が表示されたら、[決定] を押す

お知らせ

- この操作には、30 分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

番組を並べ替える

録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**並べ替え**を選択して、[決定] を押す
- 2 [↑]/[↓] で項目を選択して、[決定] を押す
 - 新しい順:
日付の新しい順に表示されます。
 - 古い順:
日付の古い順に表示されます。

機器の情報を確認する

使用中の機器の情報を確認することができます。USB ハードディスクの残量も画面で確認できます。

- 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**機器の情報**を選択して、[決定] を押す

一つの録画番組を消す

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、**1 件削除**を選択して、[決定] を押す
- 4 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
- 5 削除が終了したら [決定] を押す

複数の録画番組を消す

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、**複数削除**を選択して、[決定] を押す
- 4 さらに削除したい録画番組を選択して、[決定] を押す
「✓」マークが付きます。もう一度押すと消えます。
- 5 選択が終わったら [赤] を押し削除を実行する
- 6 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
- 7 削除が終了したら [決定] を押す

お知らせ

- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、[青]を押して、保護を解除してから[決定]を押します。

グループ内の録画番組をすべて消す

- 1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる
- 「録画した番組を再生する」(👉 23 ページ) の手順 2 をご覧ください。
- 2 [赤] を押し、グループ内全削除を選択して、[決定] を押す
- 3 確認画面ではいを選択して、[決定] を押す
- 4 削除が終了したら [決定] を押す

自動的に消す (自動削除設定)

お買い上げ時は、USB ハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は削除しないに設定してください。

- 1 録画リスト表示中に [サブメニュー] を押し、自動削除設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [∧]/[∨] で削除するまたは削除しないを選択して、[決定] を押す

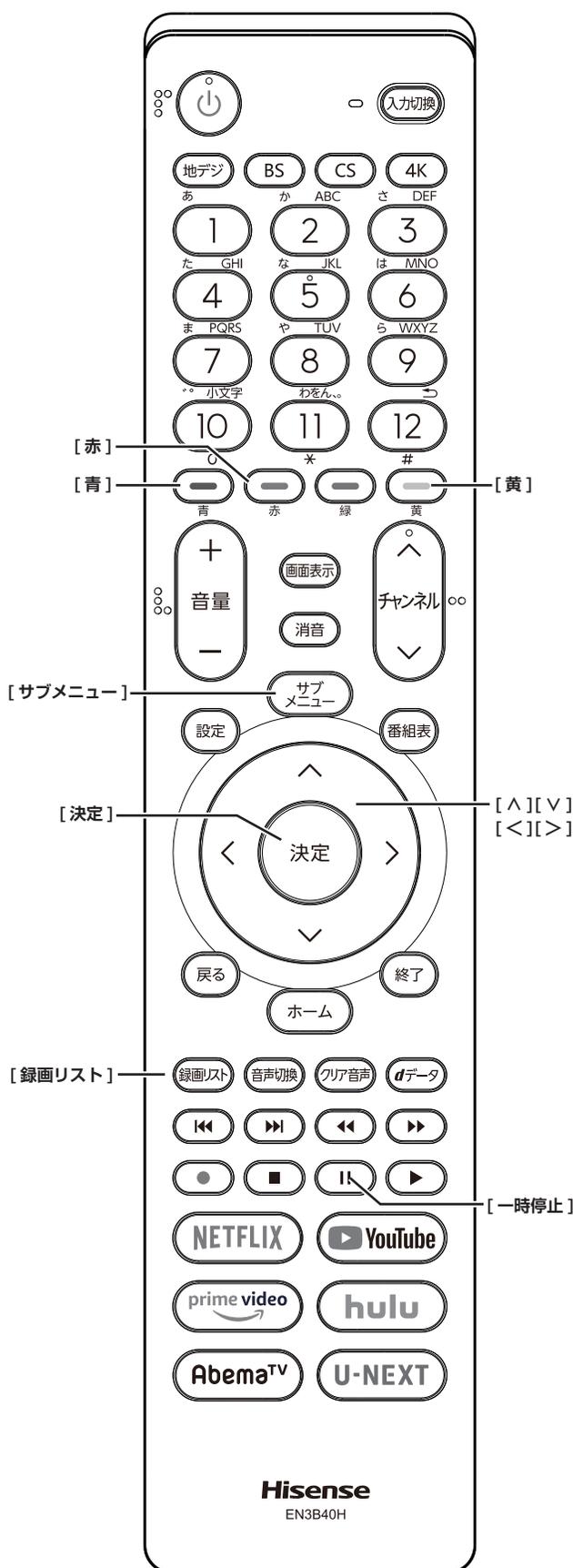
誤って消さないように保護する

自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [∧]/[∨] を押して、保護したい録画番組を選択する
- 3 [サブメニュー] を押し、保護を選択して、[決定] を押す

お知らせ

- 録画中に保護の操作はできません。
- 選択した番組が保護されます。(🔒 がつきます)
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。





録画した番組を再生する、整理する（つづき）

チャプター編集をする

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [△]/[▽] を押して、チャプター編集したい録画番組を選択する
- 3 「いろいろな再生のしかた」 (☞ 24 ページ) を利用してチャプター分割したい場面で、[II] (一時停止) を押す

画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。

- ・ [青] を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
- ・ [赤] を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。

必要に応じて、手順 3 を繰り返します。

お知らせ

- チャプター数の上限 (99 個) に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

グループ名を変更する

「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。

「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。

- 1 「録画した番組を再生する」 (☞ 23 ページ) の手順で「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる
連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。
- 2 [＜]/[＞] で名前を変更するグループのタブを選択する
- 3 [サブメニュー] を押し、編集・管理→マイフォルダ管理→マイフォルダ名の変更を選択して、[決定] を押す
「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は編集・管理→連ドラグループ名の変更を選択して [決定] を押します。
- 4 文字入力画面で変更したい名前を入力する (「文字の入力のしかた」 ☞ 12 ページ)

お知らせ

- 全角文字で 10 文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。
- 録画中にグループ名変更の操作はできません。

ほかのグループに移動する

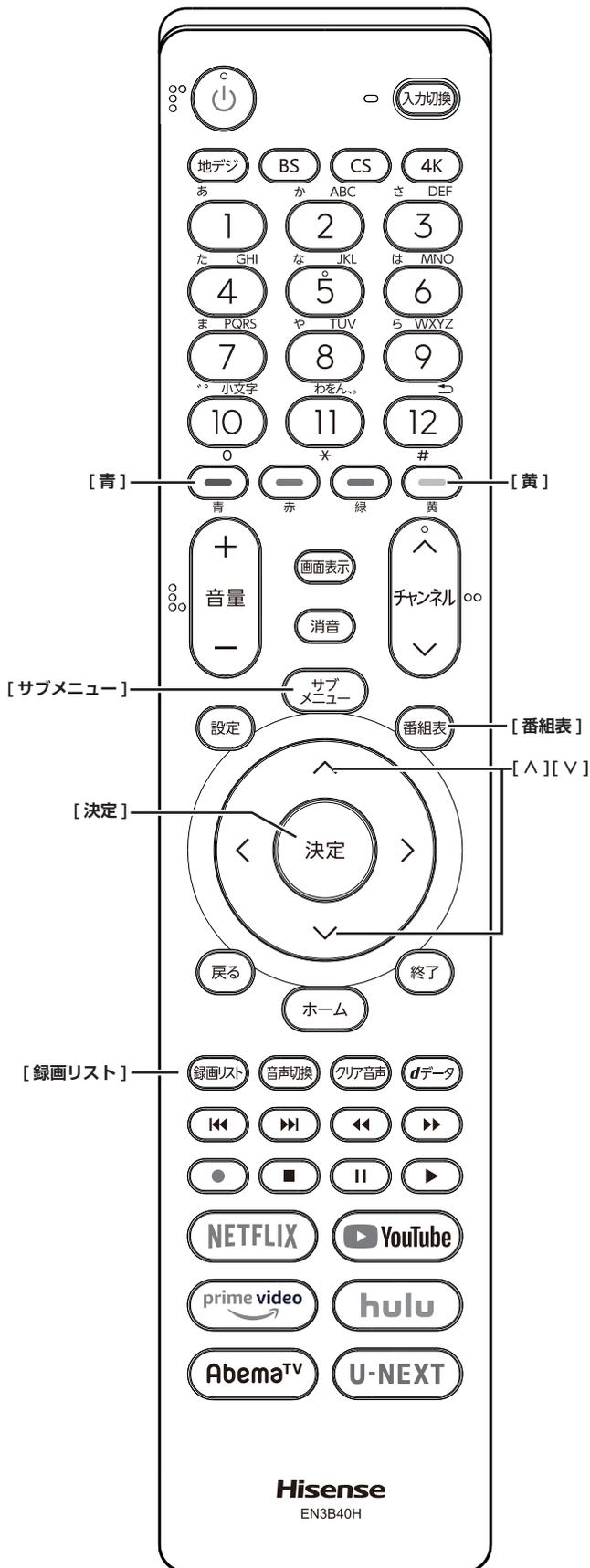
録画番組をほかのグループに移動することができます。

- 1 「録画した番組を再生する」 (☞ 23 ページ) の手順で「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる
- 2 [＜]/[＞] で移動する番組が保存されているグループのタブを選択する
- 3 [△]/[▽] を押して、移動する番組を選択する
- 4 [サブメニュー] を押し、編集・管理→マイフォルダ管理→マイフォルダの変更を選択し、[決定] を押す
- 5 [△]/[▽] で項目を選択して、[決定] を押す
 - 1 件変更：
選択中の番組を別のグループに移動します。
 - 複数変更：
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
 - グループ内全変更：
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。
- 6 [△]/[▽] で移動先のグループを選択して、[決定] を押す
- 7 複数変更の場合は [△]/[▽] で移動する番組を選択して、[決定] を押す
「✓」マークが付きます。もう一度押すと消えます。
- 8 移動する番組をすべて選んだら、[黄] を押す
- 9 [＜]/[＞] ではいを選択して、[決定] を押す

お知らせ

- 保護された録画番組は、移動することはできません。
- 録画中にほかのグループに移動する操作はできません。

● 録画番組をダビング（ムーブ）する



- USB ハードディスクが2台以上接続されて、登録されていることが必要です。
- USB ハードディスク間のダビングは、ムーブ（移動）だけです。
- ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ダビング中の番組は再生できません。

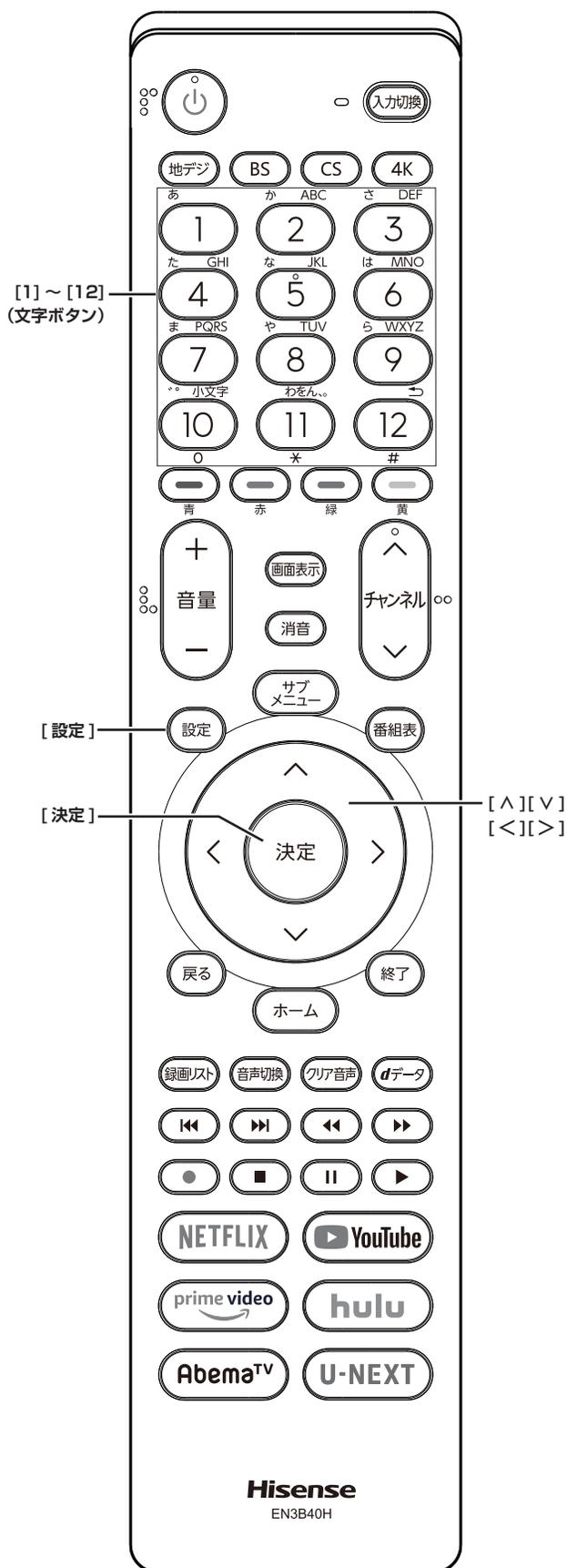
USB ハードディスク間でムーブする

- 1 [録画リスト] を押す
- 2 [↑]/[↓] を押して、ダビングしたい録画番組を選択し、[黄] を押す
- 3 [↑]/[↓] を押して、1件ダビング / 複数ダビングを選択し、[決定] を押す
- 4 [↑]/[↓] を押して、ダビング先を選択し、[決定] を押す
- 5 複数ダビングの場合は [↑]/[↓] でダビングする番組を選択して、[決定] を押す
「✓」マークが付きます。もう一度押すと消えます。
- 6 ダビングする番組をすべて選んだら、[黄] を押す

お知らせ

- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、[青] を押して、保護を解除してから [決定] を押します。
- 一度にダビングできるのは 64 番組までです。

● インターネットを利用するための設定をする



- お買い上げ時の設定や「はじめての設定」でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

接続方法

- 1 [設定] を押し、ネットワーク・サービス設定を選択し、ネットワーク接続設定を選択し、詳細設定を選択し、接続方法を選択して、[決定] を押す
- 2 [^]/[v] を押して、有線 LAN/ 無線 LAN を選択し、[決定] を押す
有線 LAN から無線 LAN に変更した場合、切換に数秒間かかります。

無線 LAN 設定

- 1 [設定] を押し、ネットワーク・サービス設定を選択し、ネットワーク接続設定を選択し、詳細設定を選択し、無線 LAN 設定を選択して、[決定] を押す
- 2 [^]/[v] を押して、自動設定 / 手動設定 / 無線 LAN 設定の初期化を選択し、[決定] を押す

■ 自動設定：

アクセスポイント選択画面が表示されます。
(各接続方法と設定については  取扱説明書 36 ページ)

お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

■ 手動設定：

接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。お使いの無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- ① [^]/[v] でネットワーク名 (SSID) を選び、[決定] を押します。接続したいアクセスポイントの SSID (ネットワーク名) を入力してください。
- ② [^]/[v] で暗号方式を選び、[決定] を押します。[^]/[v] で AES、AES/TKIP、WEP-Open、WEP-Shared または暗号なしから選び、[決定] を押します。

ご注意：「暗号なし」に設定すると、無線 LAN 経由で本機から送信する情報のセキュリティが無防備になるため、悪意ある第三者に情報を盗み見られるおそれがあります。
暗号方式は「AES」などに設定することをおすすめします。

- ③ [^]/[v] で暗号キーを選び、[決定] を押します。接続したいアクセスポイントが指定する、

「暗号キー」を入力します。

- ④ WEP-Open または WEP-Shared を選んだ場合は、[**△**]/[**▽**] でキーインデックスを選び、[**決定**] を押します。[**△**]/[**▽**] でキーインデックス 1 ~ 4 を選び、[**決定**] を押します。
- ⑤ [**△**]/[**▽**] で **設定完了** を選び、[**決定**] を押します。
- ⑥ 設定内容を確認して、[**決定**] を押します。

■ 無線 LAN 設定の初期化：

[**<**]/[**>**] ではいまたはいいえを選択して、[**決定**] を押します。

アドレス設定 (IPv4)

インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

■ IP アドレス：

[IP アドレス] を **手動設定** に設定した場合は **DNS アドレス** は、自動的に **手動設定** に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

- IP アドレスを自動取得できる場合は、[**△**]/[**▽**] で **自動取得** を選び、[**決定**] を押します。

■ 自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① [**△**]/[**▽**] で **手動設定** を選び、[**決定**] を押します。
- ② [**△**]/[**▽**] で **アドレス** を選び、[1] ~ [10] で入力します。
- ③ [**△**]/[**▽**] で **サブネットマスク** を選び、[1] ~ [10] で入力します。
- ④ [**△**]/[**▽**] で **デフォルトゲートウェイ** を選び、[1] ~ [10] で入力します。
②~④では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
- ⑤ [**△**]/[**▽**] で **設定完了** を選び、[**決定**] を押します。

■ DNS アドレス：

ドメイン名を IP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されている DNS サーバーを設定します。

[IP アドレス] を **手動設定** に設定した場合は **DNS アドレス** は自動的に **手動設定** に設定され、**自動取得** にはできません。その場合は、**DNS アドレス** を手動で設定します。

- DNS アドレスを自動取得できる場合は、[**△**]/[**▽**] で **自動取得** を選び、[**決定**] を押します。

■ 自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① [**△**]/[**▽**] で **手動設定** を選び、[**決定**] を押します。
- ② [**△**]/[**▽**] で **プライマリアドレス** を選び、[1]

~ [10] で入力します。

- ③ [**△**]/[**▽**] で **セカンダリアドレス** を選び、[1] ~ [10] で入力します。
②~③では 0 ~ 255 の範囲の数字（左端の欄は 0 以外）を 4 箇所の欄に入力します。
- ④ [**△**]/[**▽**] で **設定完了** を選び、[**決定**] を押します。

■ プロキシサーバー：

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。ここでのプロキシ設定は HTTP に関するものです。

- ① [**△**]/[**▽**] で **使用する** を選び、[**決定**] を押します。
- ② [**△**]/[**▽**] で **サーバー名** を選び、[**決定**] を押します。
- ③ **サーバー名** を入力します。

入力できる文字は半角英字 / 半角数字 / 半角記号です。半角記号の中には入力できないものもあります。

（「文字の入力のしかた」 12 ページ）

- ④ [**△**]/[**▽**] で **ポート番号** を選び、[1] ~ [10] で入力します。
- ⑤ [**△**]/[**▽**] で **設定完了** を選び、[**決定**] を押します。

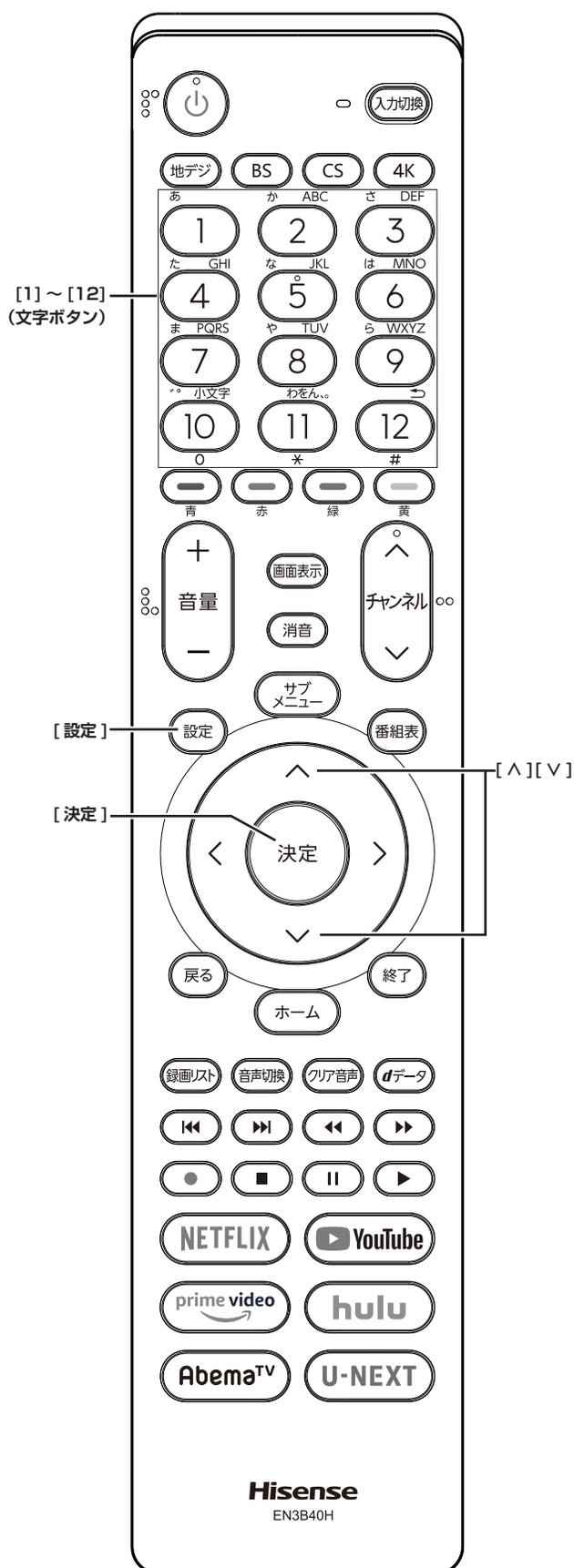
IPv6 接続

IPv6 アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。

- Netflix は IPv6 にも対応しています。
- ルーターの IPv6 パススルー（IPv6 ブリッジ）を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定をおこない、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

- [**△**]/[**▽**] を押して、**利用する / 利用しない** を選択し、[**決定**] を押す

インターネットを利用するための設定をする (つづき)



アドレス設定 (IPv6)

IPv6 で接続するとき、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

■ IP アドレス:

「IP アドレス」を**自動取得**に設定した場合は、IPv6 ステートレスアドレス自動設定方式により IP アドレスを取得した後、DHCPv6 により DNS アドレスを取得します。

IP アドレスを**手動設定**に設定した場合は DNS アドレスは、自動的に**手動設定**に設定になります。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

- ① IP アドレスを自動取得できる場合は、[^]/[v] で**自動取得**を選び、[決定] を押します。

■ 自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① [^]/[v] で**手動設定**を選び、[決定] を押します。
- ② [^]/[v] でアドレスを選び、[1] ~ [12] で入力します。
- ③ [^]/[v] で**デフォルトゲートウェイ**を選び、[1] ~ [12] で入力します。
- ④ [^]/[v] で**プレフィックス長**を選び、[1] ~ [10] で入力します。
②、③では 0 ~ 9、a ~ f の英数字 (左端の欄は 0 以外) を 8 箇所の欄に入力します。
④では 1 ~ 127 の範囲の数字を入力します
- ⑤ [^]/[v] で**設定完了**を選び、[決定] を押します。

■ DNS アドレス:

IP アドレスを**手動設定**に設定した場合は DNS アドレスは自動的に**手動設定**に設定され、**自動取得**にはできません。その場合は、DNS アドレスを手動で設定します。

- ① DNS アドレスを自動取得できる場合は、[^]/[v] で**自動取得**を選び、[決定] を押します。

■ 自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① [^]/[v] で**手動設定**を選び、[決定] を押します。
- ② [^]/[v] で**プライマリアドレス**を選び、[1] ~ [12] で入力します。
- ③ [^]/[v] で**セカンダリアドレス**を選び、[1] ~ [12] で入力します。
②、③では 0 ~ 9、a ~ f の英数字 (左端の欄は 0 以外) を 8 箇所の欄に入力します。
- ④ [^]/[v] で**設定完了**を選び、[決定] を押します。

接続テスト

- **[設定]** を押し、**ネットワーク・サービス設定** を選択し、**ネットワーク接続設定** を選択し、**接続テスト** を選択して、**[決定]** を押す

お知らせ

- ネットワーク設定が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、**[決定]** を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、**再テスト** を選んで **[決定]** を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、**設定をやりなおす** を選んで **[決定]** を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク情報

- **[設定]** を押し、**ネットワーク・サービス設定** を選択し、**ネットワーク接続設定** を選択し、**ネットワーク情報** を選択して、**[決定]** を押す

現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

● 動画配信サービスについて

光回線などのブロードバンド回線に接続して、動画配信サービス（別途会員登録・契約が必要な場合があります。）を利用することができます。

お知らせ

- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方法・契約内容によっては、サービスが利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、サービスが利用できない場合があります。
- サービスを利用するためにホームページ等に登録した情報は、本機を譲渡または廃棄する際に、登録時の規約に従って必ず登録情報を削除してください。
- 実行速度 30Mbps 以上の接続をお勧めいたします。ただし、ご利用環境や通信環境、接続回線の混雑等により映像が乱れたり、表示に時間がかかったりする場合もありますので、ご了承ください。また、各種サービスの内容、利用条件などは予告なく変更される場合があります。公式情報サイト等でご確認ください。

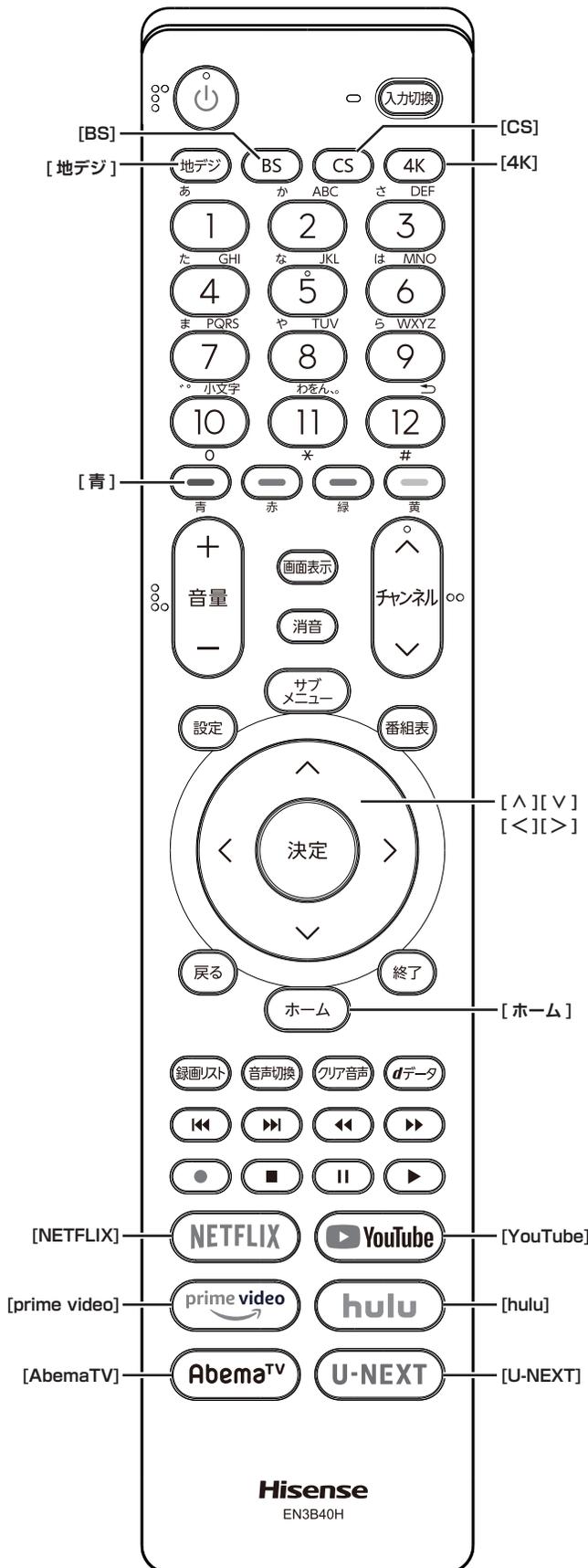
Netflix を利用する

- [NETFLIX] を押す

配信サービスの画面が表示されるので、画面の指示に従って操作をしてください。

お知らせ

- デジタル放送の視聴に戻るときは、[地デジ]、[BS]、[CS]、[4K] のいずれかを押します。
- 視聴予約の時刻になると、「Netflix」を終了して予約を実行するか問い合わせるメッセージが表示されます。画面の説明に従って、予約を実行するか、予約をキャンセルして「Netflix」を続けるか選ぶことができます。
- 「ESN」（Netflix サービスのために発行される機器固有の ID です。）の確認やログイン設定の初期化をすることができます。（📖 53 ページ）



動画配信サービスを楽しむ

- [YouTube]、[prime video]、[hulu]、[AbemaTV]、[U-NEXT] を押す
配信サービスの画面が表示されるので、画面の指示に従って操作をしてください。

お知らせ

- お買い上げの時期によっては、サービスをご利用いただくにはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- サービスは、予告なく変更や終了する場合があります。
- サービスによっては、BS / CS 4K放送を録画中は、視聴できない場合があります。

その他、利用したいサービスを選択する

- 1 [ホーム] を押す
- 2 [^]/[v]/[<]/[>] を押して、利用したいサービスを選択する
選択した配信サービスの画面が表示されるので、画面の指示に従って操作をしてください。

お知らせ

- デジタル放送の視聴に戻るときは、[地デジ]、[BS] [CS]、[4K] のいずれかを押します。
- 4K 放送録画中に Netflix 以外の動画配信サービスを起動することはできません。

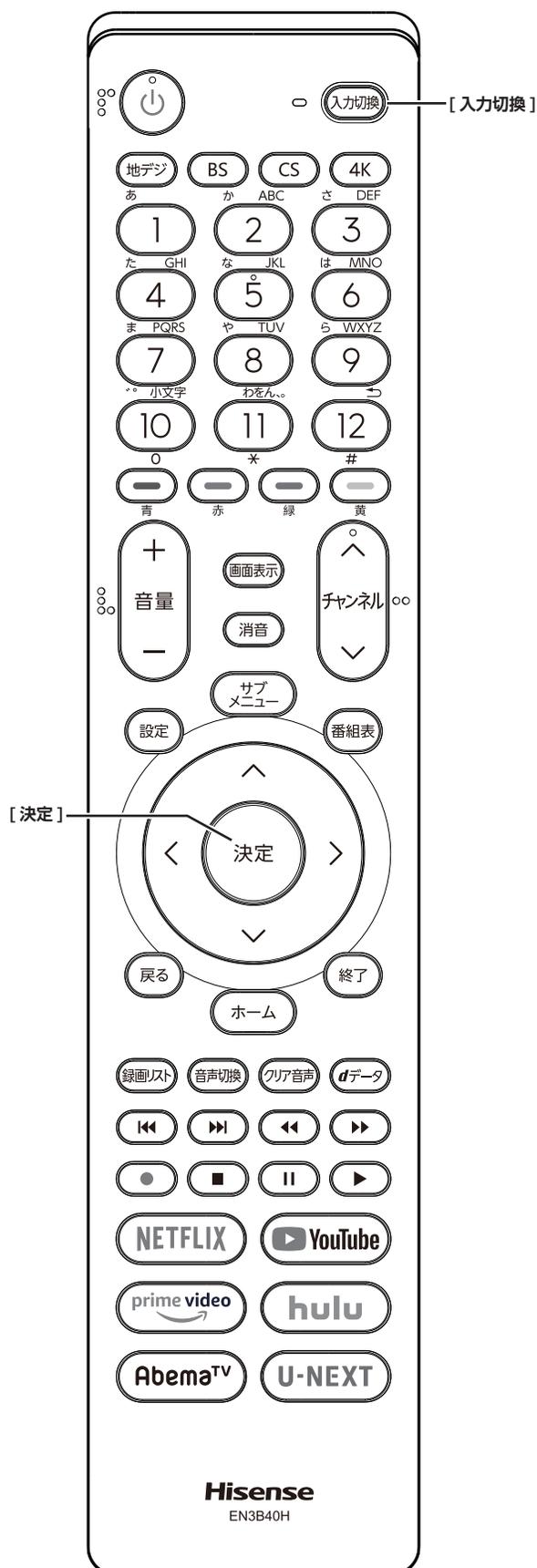
※動画配信サービスの利用者登録が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、各社のホームページを参照してください。

例：

Netflix

<https://www.netflix.com/jp/>

● 接続した入力機器の映像を見る



① 接続を確認する

接続を確認してください。(👉取扱説明書 29 ~ 34 ページ)

② 入力を切り換える

- 1 [入力切換] を押す
 - 2 続けて[入力切換]を押して入力を選び、[決定]を押す
- [決定]を押さなくても、しばらく待つと選択した入力に切り換わります。

以下の順番で切り換わります。

テレビ → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 →
ビデオ → テレビに戻る

お知らせ

- ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換を押したときにスキップさせることができます。(👉 58 ページ)
- 接続する外部機器に合わせて、入力表示を変更することができます。(👉 58 ページ)

③ 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧ください、機器を再生してください。

● メディアプレーヤーを使う

USBメモリー等のUSB機器、ネットワークメディアサーバー（DTCP-IP対応テレビを含む）を接続して、保存されたコンテンツ（動画、写真）を再生することができます。

接続を確認する

接続を確認してください。（取扱説明書 30 ページ）

お知らせ

- すべてのファイルの再生を保証するものではありません。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- オートメディアプレーヤーをオンに設定しておく、放送・外部入力の時視聴時にUSBメモリーを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます。（お買い上げ時はオンに設定されています）
（取扱説明書 52 ページ）
- すべてのファイルの再生品質を保証するものではありません。
- すべてのサーバー機器とのファイル再生を保証するものではありません。

- 再生可能なファイル形式以外のファイルを再生することはできません。
- 再生可能なファイル形式であっても、ご使用の編集ソフト、ファイルの仕様やコーデックによっては、再生できない場合があります。
- H.264/MPEG4-AVCの3840×2160の場合、フレームレートは最大で30fpsまでです。その他のフォーマットは60fpsまで対応しています。
- 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。

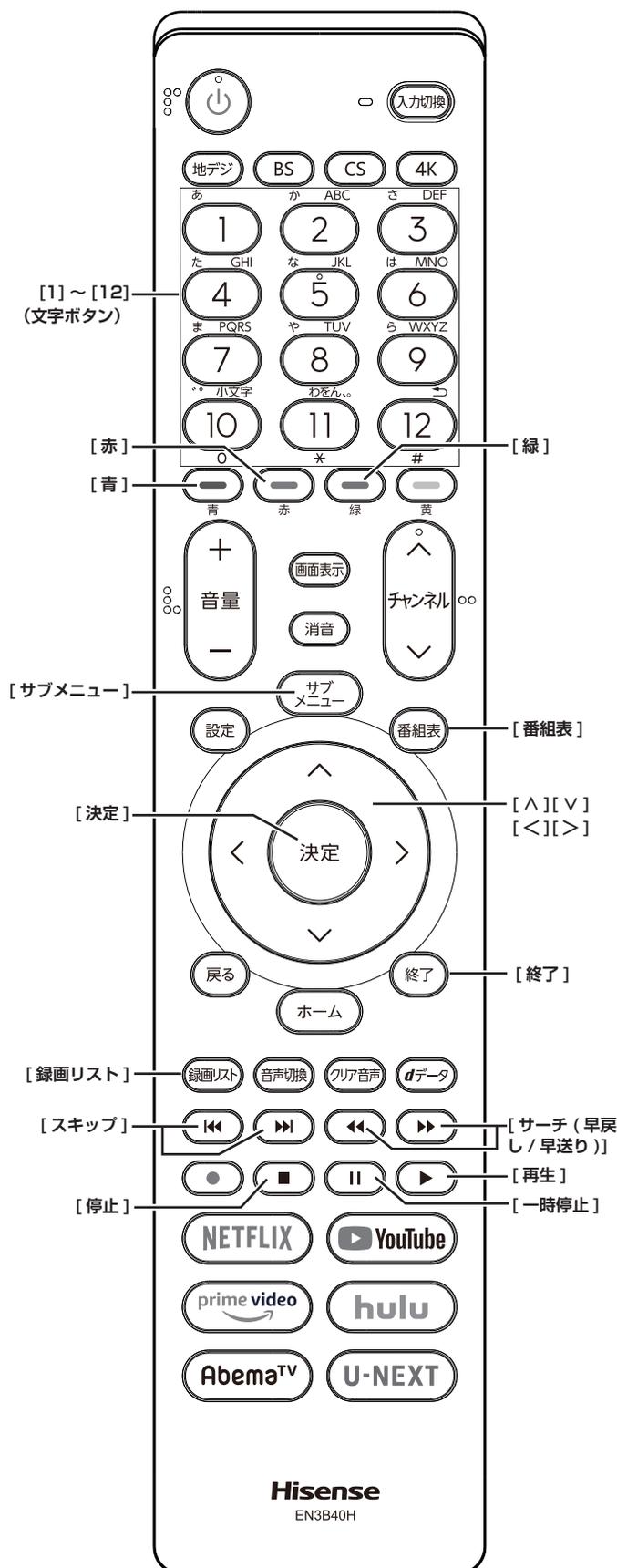
本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイルフォーマット	映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度	最大ファイル数
USB機器、 ネットワークメディアサーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、MPEG-1 Layer II	1920×1080	3000/フォルダ
	MPEG2-TS	H.264/MPEG4-AVC	AAC、ドルビーデジタル(AC3)	1920×1080	3000/フォルダ
USB機器	MPEG2-TS	HEVC	AAC、HE-AAC、 ドルビーデジタル(AC3)	3840×2160	3000/フォルダ
	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	1920×1080	3000/フォルダ
		HEVC	AAC、HE-AAC	3840×2160	3000/フォルダ
		H.264/MPEG4-AVC	AAC、HE-AAC、 リニアPCM	3840×2160	3000/フォルダ
ネットワークメディアサーバー	MP4	H.264/MPEG4-AVC	AAC	1920×1080	3000/フォルダ

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	16384×16384ピクセル以内(ネットワークメディアサーバーについては4096×4096ピクセル以内)
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

● メディアプレーヤーで動画を再生する



USB 機器内の動画を再生する

オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、[△]/[▽]で動画を見るを選択し[決定]を押して、手順4から操作します。

- 1 [サブメニュー] を押し、メディアプレーヤーを選択し、[決定] を押す
- 2 [△]/[▽] を押して、動画を選択して、[決定] を押す
- 3 [△]/[▽]/[<]/[>] を押して、再生したい機器を選択して、[決定] を押す
接続した機器が1台の場合はそのまま [決定] を押します。
- 4 [△]/[▽] を押して、再生したいフォルダーを選択して、[決定] を押す
機器によっては、この操作はありません。
- 5 [△]/[▽] を押して、再生したい動画を選択して、[決定] を押す
選択した動画を再生します。動画再生を終了するときは、[停止] または [終了] を押します。「動画再生リスト」に戻るには、[録画リスト] を押します。

お知らせ

- パソコンなどで編集した映像など、ファイルによっては、表示できないものがあります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機能を私的な目的以外でご使用にならないでください。著作権法違反になる場合があります。

いろいろな再生のしかた

機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。

[▶ 再生]	動画の再生を開始します。再生中に繰り返し押し続けると、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り替わります。 ※動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
[⏸ 一時停止]	再生中に押し続けると一時停止になります。もう一度押し続けると、再生が再開されます。
[■]	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。

[▶▶]	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります) ●一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
[◀◀]	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります) ●一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
[▶▶▶]	次の動画の先頭にスキップして再生します。※1
[◀◀◀]	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。※1
[<]・[>]	再生中に押すと、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。 ●再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
[決定]	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
[録画リスト]	再生中に押すと、「動画再生リスト」画面が表示されます。
[終了]	操作を終了します。

※1 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

繰り返し再生の設定を変える

動画を繰り返して再生することができます。設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**再生設定** を選択して、[決定] を押す

2 [^]/[v] で項目を選択して、[決定] を押す

■ 1 コンテンツリピート:

選択した一つの動画の再生を繰り返します。

■ リピート:

フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します。

■ オフ:

USB メモリー等の USB 機器の場合、選択した動画から一番新しい動画まで連続再生を続けます。ネットワークメディアサーバー機器の場合、繰り返し再生をしません。

お知らせ

- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます。(1 コンテンツリピート: 、リピート: )

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

1 再生中に [サブメニュー] を押し、**サーチ** を選択して、[決定] を押す

2 [1] ~ [10] で時間を指定する

動画を並べ替える

機器によっては並べ替えができないことがあります。

1 動画再生リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**並べ替え** を選択して、[決定] を押す

2 [^]/[v] で項目を選択して、[決定] を押す

機器を選び直す

- 動画再生リスト表示中に、[青] を押す

機器の情報を確認する

- 動画再生リスト表示中に [サブメニュー] を押し、**機器の情報** を選択して、[決定] を押す

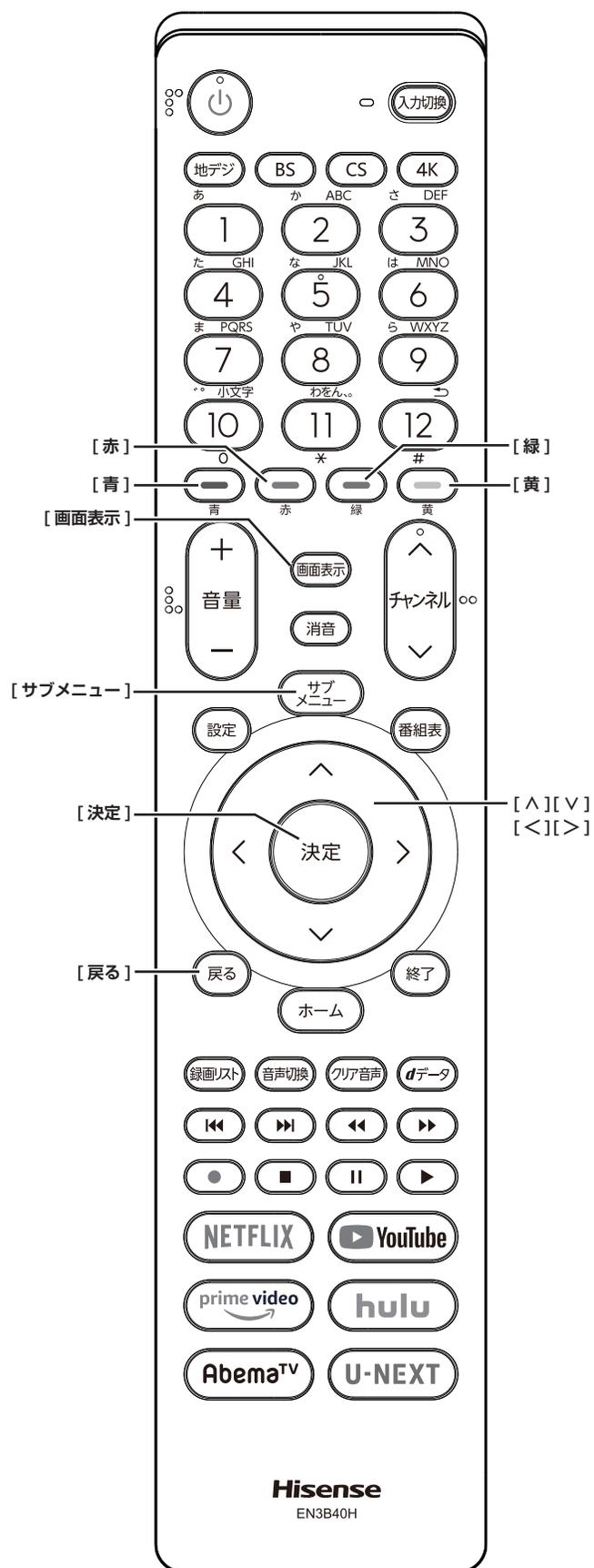
動画再生リストの操作ガイドについて

機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。

■ [赤] 削除:

「一つの録画番組を消す」等を参考にしてください。
( 26 ~ 27 ページ)

● メディアプレーヤーで写真を見る



USB 機器内の写真を見る

オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、[△]/[▽]で写真を見るを選択し[決定]を押して、手順4から操作します。「写真再生」のマルチ表示画面になります。

- 1 [サブメニュー] を押し、メディアプレーヤーを選択し、[決定] を押す
- 2 [△]/[▽] を押して、写真を選択して、[決定] を押す
- 3 [△]/[▽]/[<]/[>] を押して、再生したい機器を選択して、[決定] を押す
接続した機器が1台の場合はそのまま [決定] を押します。
- 4 [△]/[▽]/[<]/[>] を押して、再生したいフォルダーを選択して、[決定] を押す
機器によっては、この操作はありません。
- 5 [△]/[▽]/[<]/[>] を押して、見たい写真を選択して、[決定] を押す
 - ・写真を一枚だけ拡大して表示します。(シングル再生)
 - ・[<]/[>] で前の写真や次の写真に切り換えることができます。マルチ表示画面に戻るには、[戻る] を押します。

お知らせ

- 写真の表示中は、音声出力(固定/可変)端子から音声信号は出力されません。
- パソコンなどで編集した写真など、ファイルによっては、表示できないものがあります。
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機能を私的な目的以外でご使用にならないでください。著作権法違反になる場合があります。

自動的に順番に表示する (スライドショー再生)

- [緑] を押す
選択中の写真から順番に表示されます。
 - ・[青] を押すと、スライドショー再生を一時停止することができます。もう一度押すと再開されます。
 - ・[<]/[>] で前の写真や次の写真に切り換えることができます。
 - ・[緑] を押すと、シングル再生に戻ります。
 - ・[黄] を押すと、マルチ表示画面に戻ります。

写真を回転させるには

マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。

● [赤] を押す

押すごとに時計回りに 90 度ずつ回転させることができます。

写真だけを表示するには

シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。

● [画面表示] を押す

もう一度 [画面表示] を押すと情報が表示されます。

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

USB 機器の場合に、マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます。(ネットワークメディアサーバーは「フォルダ別」の表示だけになります)

● マルチ表示画面のときに [黄] を押す

押すごとに以下のシームレスまたはフォルダ別に切り換わります。

■ シームレス:

第 1 階層にある DCIM フォルダや、その中にある第 6 階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大 1000 枚まで表示されます。(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)

■ フォルダ別:

写真および、同じ階層にあるフォルダが合計 1000 まで表示されます。

・フォルダーを開くには、[△]/[▽]/[<]/[>] でフォルダを選び [決定] を押します。

・上の階層に戻るときは [戻る] を押します。

再生を繰り返す

シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに [サブメニュー] を押す

2 [△]/[▽] を押して、再生設定を選択して、[決定] を押す

3 [△]/[▽] を押して、項目を選択して、[決定] を押す

■ リピート:

フォルダ内にあるすべての写真の連続再生を繰り返します。

■ シャッフル:

フォルダ内のすべての写真をランダムに再生します。

■ シャッフルリピート:

ランダム再生を繰り返します。

■ オフ:

繰り返し再生やランダム順再生をしません。

お知らせ

- 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されます。

 : リピート  : シャッフル

  : シャッフルリピート

スライドショーの表示間隔の設定をする

写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときに [サブメニュー] を押す

2 [△]/[▽] を押して、間隔設定を選択して、[決定] を押す

3 [△]/[▽] を押して、項目を選択して、[決定] を押す

■ 速い: 表示が完了してから約 5 秒後

■ 標準: 表示が完了してから約 10 秒後

■ 遅い: 表示が完了してから約 30 秒後

マルチ表示画面の写真の並び順を変える

表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並べ替えができます。機器によっては、並べ替えができないことがあります。

● マルチ表示画面のときに [青] を押す

[青] を押すごとに、古い順と新しい順が交互に切り換わります

機器を選び直す

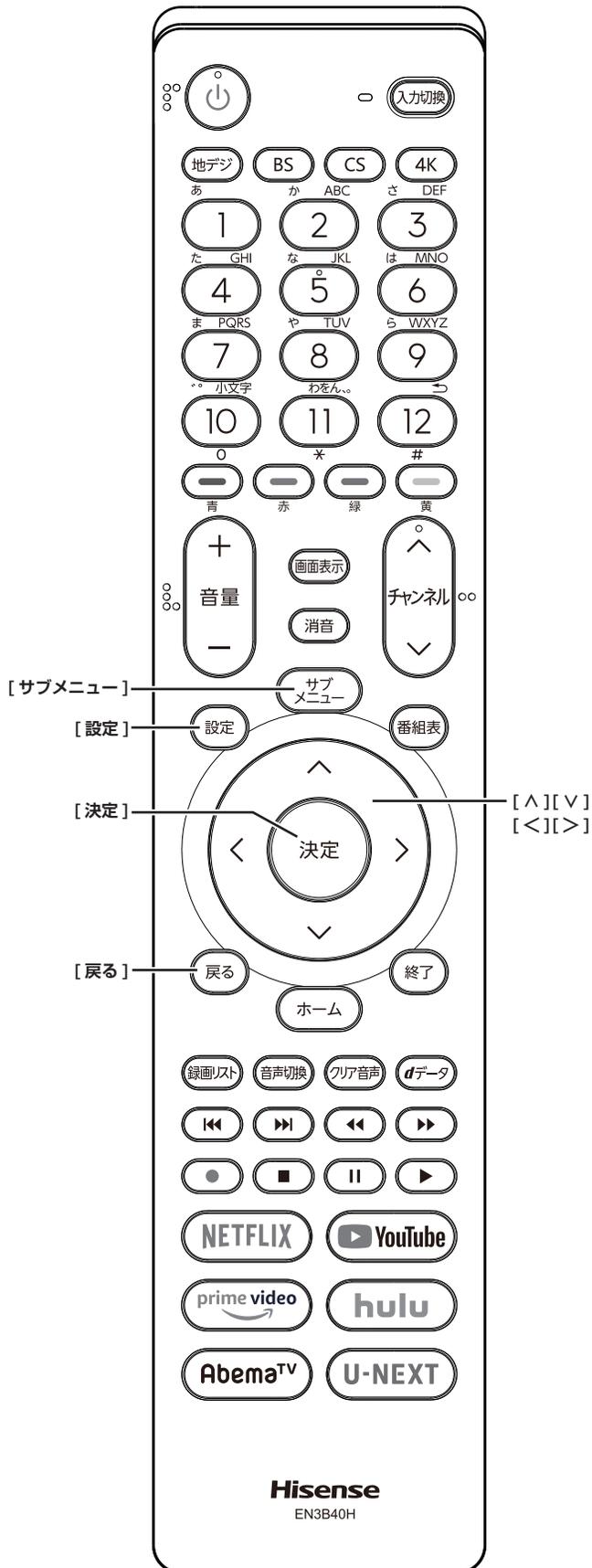
1 マルチ表示のときに [サブメニュー] を押す

2 [△]/[▽] を押して、機器選択を選択して、[決定] を押す

機器の情報を確認する

- マルチ表示のときに [サブメニュー] を押し、機器の情報を選択して、[決定] を押す

HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作する



HDMI ケーブルで接続する

本機と HDMI 連動 (CEC) 対応機器を HDMI ケーブル (市販品) で接続して、映像、音楽を楽しむことができます。

接続を確認してください。(👉取扱説明書 34 ページ)

お知らせ

- CEC リンクは HDMI-CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール方式です。
- HDMI 連動 (CEC) を使うには、接続した機器側の設定も必要です。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- すべての機能が操作できるわけではありません。

リモコンで操作するための設定をする

1 [設定] を押し、その他の設定を選択し、外部入力・HDMI 連動設定を選択し、HDMI 連動設定を選択して、[決定] を押し

2 [↑]/[↓] を押し、各項目を選択して、[決定] を押し

■ HDMI 連動機能：

本機のリモコンでの HDMI 連動機器操作、ブルーレイレコーダー等の録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

■ リモコン動作モード：

本機からの操作に対応した HDMI 連動対応機器を接続している場合、連動機器優先に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

■ 連動機器→テレビ入力切換：

連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

■ 連動機器→テレビ電源：

連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。

- この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は動きません。リモコンの [電源] で電源を「待機」にしてください。

■ テレビ→連動機器電源オフ：

本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります)

- 本機の**オフタイマー** や**省エネ設定**とも連動します。(P.3 ページ、15 ページ)

■ サウンドシステム連動:

テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。

- ・ **連動する**

サウンドシステムのスピーカー切替と音量調整を使用するときに選びます。

- ・ **連動しない**

サウンドシステムのスピーカー切替や音量調整を使用しないときに選びます。

■ 電源オン時優先スピーカー:

本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。**サウンドシステム連動を連動する**に設定した場合に設定できます。

- ・ **テレビスピーカー**

本機のスピーカーから音声が出ます。

- ・ **サウンドシステム**

テレビの電源をオンにしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。

- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。(P.61 ページ) サブメニューでスピーカを切替した場合は本機の電源操作で、優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

■ サウンドシステム音声入力:

連動機器を接続した HDMI 入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。

■ 機器操作メニュー自動表示:

使用するに設定すると、本機に接続した HDMI 連動 (CEC) 対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

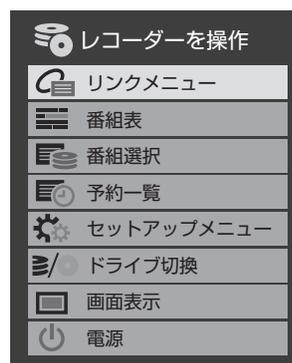
HDMI 連動機能を選ぶ

- **入力切替**で HDMI 連動対応機器が接続された入力を選び、**[サブメニュー]**を押して、**機器操作**を選択して**[決定]**を押す

本機と HDMI ケーブルを使って接続した HDMI 連動 (CEC) 対応機器を操作するメニューを表示します。

接続している HDMI 連動 (CEC) 対応機器に応じたメニューが表示されます。

[例]



● ネットワーク・サービス設定をする

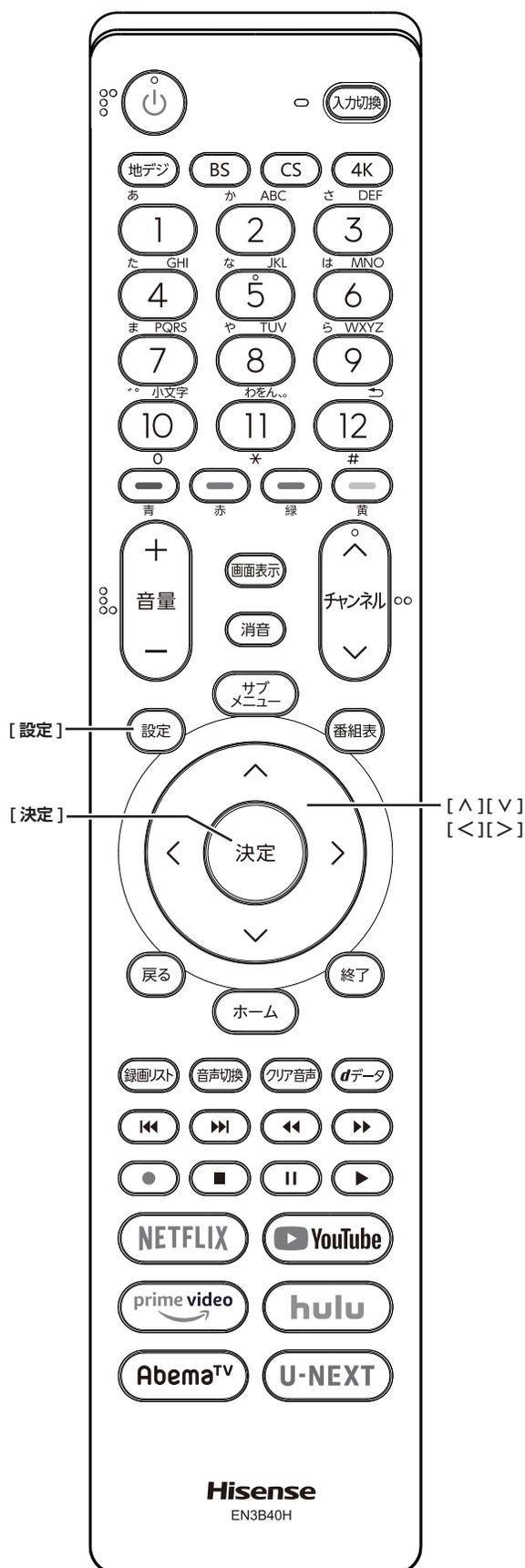
- 4K 放送の録画番組はホームネットワーク上の機器で視聴できません。また、4K 放送以外でも一部の録画番組が視聴できないことがあります。

接続を確認してください。(取扱説明書 27 ページ)

本機の名称

ホームネットワークに接続された機器から本機を識別するための情報(デバイス名称)を設定することができます。

- 1 [設定] を押し、ネットワーク・サービス設定を選択し、外部連携設定を選択し、本機の名称を選択して、[決定] を押す
- 2 文字入力画面で新しい名前を入力する
(「文字の入力のしかた」 12 ページ)



● ネットワーク・サービス設定をする（つづき）

本機のリモート電源オン機能を設定する

- 1 [設定] を押し、**ネットワーク・サービス設定** を選択し、**外部連携設定** を選択し、**リモート電源オン設定** を選択し、**外部機器から電源オン** を選択して、[決定] を押す
- 2 [へ]/[v] を押し、**オン** または **オフ** を選択して、[決定] を押す
オンに設定すると、スマートフォンの対応アプリからテレビの電源を「入」にすることができます。

お知らせ

- 本機と外部機器を合わせて使用するとき、製品が見える場所でお使いください。
- 外部機器が本機と同一ネットワークで使用し、公共ネットワークでの使用または公共ネットワーク経由のご使用はご遠慮ください。

本機から起動する機器を登録する

- 1 [設定] を押し、**ネットワーク・サービス設定** を選択し、**外部連携設定** を選択し、**リモート電源オン設定** を選択して、[決定] を押す
- 2 [へ]/[v] を押し、**外部機器を電源オン** を選択して、[決定] を押す
「外部機器を電源オン」の画面が表示されます。対象機器がない場合は、内容が空欄になります。
- 3 本機から起動する機器を [へ]/[v] で選択し、[決定] を押す（登録する）
[✓] マークが付きます。もう一度押すと消えます。
「Wake on LAN」の欄の「対応」は、対応機器として本機が認識できた場合に表示されます。対応機器であっても本機が認識できない場合は表示されません。
- 4 [へ]/[v]/[<]/[>] を押して、**登録** を選択して、[決定] を押す

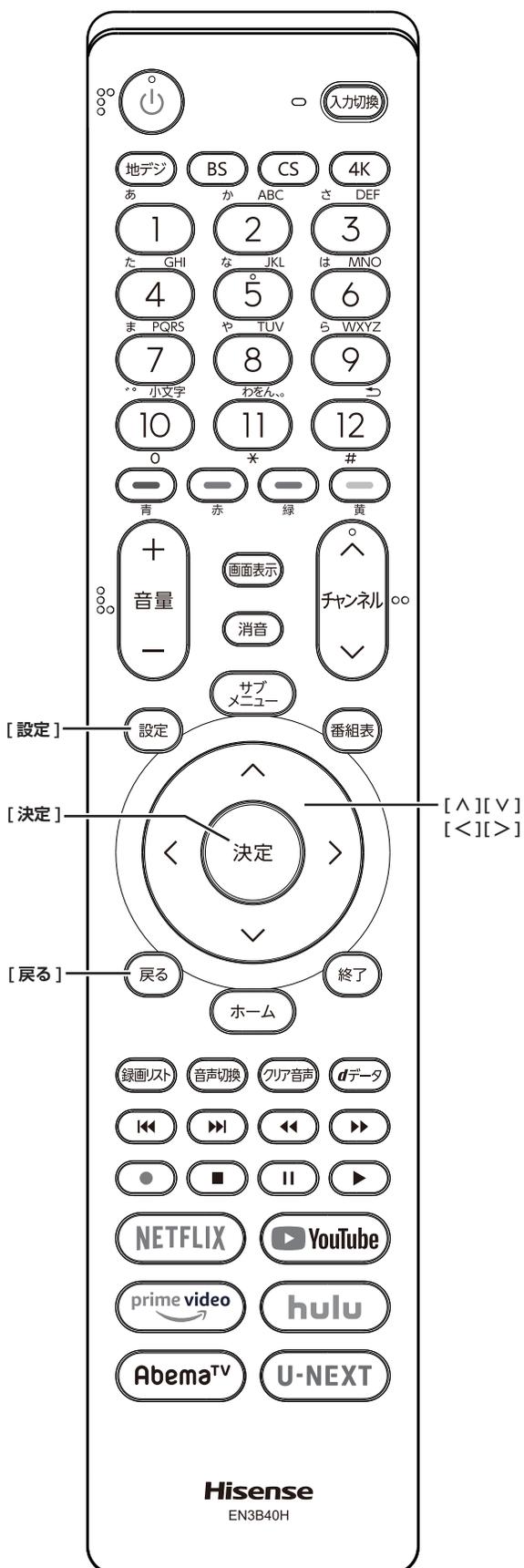
再生時の機器選択について

- 本機の番組再生などの際に、登録した機器が起動していない場合は「機器選択」の画面に薄くなって表示されます。その機器を選択して [決定] を押すと「Wake on LAN」の画面が表示されます。
- 「Wake on LAN」の画面では **い** を選んで [決定] を押すと、機器を起動することができます。

お知らせ

- 登録した機器が Wake on LAN に対応していない場合は起動できません。
- 登録した機器が Wake on LAN に対応していても、機器の状態によって起動できないことがあります。

● 設定メニューについて



メニュー中の基本操作

[設定] メニューの表示 / 非表示	[決定] 選択の決定
[^]/[v]/[<]/[>] 項目の選択、調整	[戻る] 選択・調整を確定し、一つ前の画面に戻る

本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。

基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

- 1 [設定] を押すと設定メニューが表示される
- 2 [^]/[v] を押して項目を選び、[決定] を押す
- 3 [^]/[v] または [<]/[>] を押し、項目を選択して、[決定] を押す
- 4 [戻る] を押すと1つ前の画面に戻る
[設定] をもう一度押すと、メニュー表示が消えます。

お知らせ

- 現在選択されている画面で設定できない項目は薄く表示されます。

設定メニュー

設定項目	設定内容	ページ
映像設定	映像に関連する設定をします。	(👉 48 ページ)
音声設定	音声に関連する設定をします。	(👉 50 ページ)
録画・再生設定	録画・再生に関連する設定をします。	(👉 52 ページ)
ネットワーク・サービス設定	ネットワーク接続や、動画配信サービスなどに関連する設定をします。	(👉 53 ページ)
放送受信設定	放送受信、アンテナ設定、リモコンボタンに関連する設定をします。また ACAS チップ情報を見ることができます。	(👉 55 ページ)
初期設定	「はじめての設定」や「かんたんネットワーク設定」を行います。	(👉 56 ページ)
その他の設定	視聴制限設定、HDMI 運動設定、設定の初期化などをします。	(👉 57 ページ)

● 設定メニューから設定をする

映像設定

設定項目	切換項目	設定内容
映像メニュー	(☞ 下記 [別表 1])	
バックライト	0 ~ 100	バックライトの明るさを調整します。 明るさ検出 が オフ に設定されているときに表示されます。
画面の明るさ	- 15 ~ + 15	お好みに合わせて見やすい明るさに調整します。 明るさ検出 が オン に設定されているときに表示されます。
お好み調整 / 映像調整	(☞ 右記 [別表 2])	
なめらか調整	クリアスムーズ / スムーズ / オフ	映画やアニメなどコマ数が少ない映像に対し、なめらかな動きで映像を表示する機能です。 ※ 映像メニューが「ゲーム」以外のときに設定できます。 クリアスムーズ : 映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。 スムーズ : 映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。 オフ : 元の入力映像をそのまま表示します。
低遅延モード	オン / オフ	画像処理による表示の遅延時間を短縮します。 ※ 「低遅延モード」は、外部入力 (HDMI) のときに設定できます。
明るさ検出	オン / オフ	オン にすると明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。 映像メニュー で 自動 を選択したときは設定できません。

[別表 1] 映像メニュー

設定項目	設定内容
自動	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
ダイナミック	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
スタンダード	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)
スポーツ	スポーツ番組などを見るときに適した設定です。

アニメ	アニメ番組を楽しむときに適した設定です。
映画	映画を見るときに適した設定です。(暖か味のある色合いが再現されます)
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です。(HDMI 入力、ビデオ入力のときに選択できます)
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です (HDMI 入力のときに選択できます)。

お知らせ

- 映像メニューは、放送 / 再生の映像や各入力端子・写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。

[別表 2] お好み調整 / 映像調整

設定項目	切換項目	設定内容
黒レベル	- 50 ~ + 50	映像の暗い部分 (黒) の再現性 (明るさ) を調整します。
色の濃さ	- 50 ~ + 50	映像の色の濃さを調整します。
色あい	- 50 ~ + 50	肌の色に注目して、色あいを調整します。
精細感・ノイズ調整	(☞ 49 ページ [別表 3])	
コントラスト感調整	(☞ 49 ページ [別表 4])	
色詳細調整 (色温度)	- 5 ~ + 5 (映像メニューが自動のとき) オート / 手動 (映像メニューが自動以外のとき)	画面全体の色味を調整します。 オート : 色味を自動で調整します。 手動 : 0 ~ 10 で調整します。調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。 【青】を押すと R ゲイン (赤)、G ゲイン (緑) または B ゲイン (青) 個別の設定に切り換えることができます。明るい部分の色温度を微調整します。調整範囲は - 30 ~ + 30 で、調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
お好み調整を初期値に戻す / 映像調整を初期値に戻す	はい / いいえ	映像調整の内容を、お買い上げ時の設定に戻します。

映像設定 (つづき)

お知らせ

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「:メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「自動:メモリー」と(HDMI1)の「自動:メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

[別表3] 精細感・ノイズ調整

設定項目	切換項目	設定内容
シャープネス	- 50 ~ + 50	映像の鮮明さを調整します。
レゾリューションプラス設定	レゾリューションプラス: オン/オフ ゲイン調整: -5 ~ +5 (映像メニューが自動のとき) 0 ~ 10 (映像メニューが自動以外のとき)	緻密で精細感のある映像を表示します。
MPEG (エムペグ) NR	オート/手動	デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らすします。 オート: 映像の種類に応じて自動的に制御されます。 手動: 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。
ダイナミックNR	オート/手動	映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。映像メニューがゲーム以外のときに設定できます。 オート: 映像の種類に応じて自動的に制御されます。 手動: 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。通常はオートに設定してください。効果を強くすると残像が目立つことがあります。

お知らせ

- 視聴する映像の種類および映像メニューの設定によっては調整や設定ができない項目があります。
- MPEG NR は映像メニューがゲーム以外のときに設定できます。

[別表4] コントラスト感調整

設定項目	切換項目	設定内容
ユニカラー	- 50 ~ + 50	映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
ヒストグラムバックライト制御	オン/オフ	オンにすると映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
ガンマ調整	- 10 ~ + 10	映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。
オートガンマ	オン/オフ	オンにすると映像のコントラストを自動調整します。

お知らせ

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



設定メニューから設定をする (つづき)

音声設定

設定項目	切換項目	設定内容
音声メニュー	自動 / ダイナミック / スタンダード / クリア音声 / 映画	[<]/[>]を押して、見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。 自動: 番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。 ダイナミック: 音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。 スタンダード: ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。 クリア音声: 人の声を強調して、声を聴きやすくします。 映画: 映画を鑑賞するときに適した設定です。
サウンドリマスター	オート / オン / オフ	微小信号を再現し、より高精細な音質にします。 ※サブメニューの「スピーカー切換」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ー」と表示され、操作できません。 オート: 音声信号に合わせてオン / オフを切り替えます。 オン: 高精細な音質になります。 オフ: この機能は働きません。
低音強調	オフ / 自動 (音声メニューが自動のとき) オフ / 弱 / 強 (音声メニューが自動以外のとき)	自動: 低音の強さを自動で調整します。 強 / 弱: 低音の強さを調整します。
イコライザー	150, 500, 1.5k, 4k, 10k Hz の各周波数 で - 20 ~ +20	イコライザーで音質をより詳細に調整できます。

サラウンド	オフ / 自動 (音声メニューが自動のとき) オフ / ライブ / シネマ (音声メニューが自動以外のとき)	ステレオ音声に、広がりを持たせます。 自動: ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。 ライブ: ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。 シネマ: ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。 オフ: この機能は働きません。
オートボリューム	オン / オフ	オン にするとコンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
左右バランス	(左) 20 ~ 20 (右)	スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
ドルビーDRC	強 / 弱	コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。 HDMI 入力端子やホームネットワークに接続した機器から、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します。(機器からドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください) 強: 音声レベルの補正効果が強く働きます。 弱: 音声レベルの補正効果が弱く働きます。
音声出力詳細設定	👉 51 ページ [別表 5]	

お知らせ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 外部入力を選んでいるときは、**自動**を選択できません。

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「:メモリー」が加わります。
- 調整・設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック:メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック:メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

[別表 5] 音声出力詳細設定

設定項目	切換項目	設定内容
デジタル音声出力	PCM/ビットストリーム	光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力する音声信号の設定です。 PCM: 常にリニアPCM信号が出力されます。 オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。 ビットストリーム: オート: 信号が自動で出力されます。 Dolby Audio 変換: Dolby 信号に変換して出力します。 デジタルスルー: AAC や Dolby 信号がそのまま出力されます。
デジタル音声出力タイミング	- 5 ~ 0	光デジタル音声出力端子とHDMI入力1(ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。
ヘッドホン/音声出力設定	(☞ 右記 [別表 6])	
テレビ設置設定	スタンド/ 壁掛け/ コーナー	本機の設置状況に合わせた音質に設定します。

お知らせ

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力設定をPCM以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。

[別表 6] ヘッドホン/音声出力設定

設定項目	切換項目	設定内容
出力設定	ヘッドホン/ 音声出力	ヘッドホン/音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。 ※ヘッドホンで聴くときは、必ず ヘッドホン に設定してください。 ヘッドホン: 音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。 音声出力: 音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。
ヘッドホン出力設定 (出力設定でヘッドホンを選んだときに設定できます。)	通常モード/ 音声同時出力モード	通常モード: 音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。 音声同時出力モード: 音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。
音声出力設定 (出力設定で音声出力を選んだときに設定できます。)	固定/可変	固定: 音声出力端子から一定の音量レベルで音声出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。 可変: 音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。



設定メニューから設定をする (つづき)

録画・再生設定

設定項目	切換項目	設定内容
通常録画用 USB ハードディスク設定	(☞ 下記 [別表 7])	
録画設定	(☞ 右記 [別表 8])	
オートメディアプレーヤー	オン/オフ	オンにすると、放送・外部入力の見聴時に USB メモリーなどを接続したときに、操作の選択メニューが表示されます。

[別表 7] 通常録画用 USB ハードディスク設定

設定項目	切換項目	設定内容
機器の登録	—	通常録画用機器の一覧が表示されます。[赤]を押すと選択した機器の登録解除ができます。また[決定]を押すと接続中の機器の登録名変更ができます。
省エネ設定	オン/オフ	オン: USB ハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。 オフ: 本機の電源が「入」のとき、USB ハードディスクの電源は常時「入」の状態です。
機器の取りはずし	—	USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときに行います。 (☞ 15 ページ)
動作テスト	—	USB ハードディスクが正しく動作するかテストをします。 (☞ 16 ページ)
録画番組の修復	—	再生できない録画番組の修復を試みます。 (☞ 26 ページ)
機器の初期化	—	USB ハードディスクの情報をすべて削除し初期化します。 (☞ 16 ページ)

お知らせ

- 正常に使用できなくなった USB ハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

[別表 8] 録画設定

設定項目	切換項目	設定内容
録画先機器の設定	—	複数の USB ハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。 (☞ 14 ページ)
マジックチャプター設定	本編 / 音楽 / 本編と音楽 / オフ	シーンの変わり目でチャプター分割 (章分け) されるように設定できます。(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります) 本編: 本編と CM の間でチャプター分割されます。 音楽: 楽曲の前後でチャプター分割されます。 本編と音楽: 上記の両条件でチャプター分割されます。 オフ: チャプター分割をしません。

ネットワーク・サービス設定

設定項目	切換項目	設定内容
ネットワーク 接続設定	(☞ 下記 [別表 9])	
外部連携設定	(☞ 右記 [別表 10])	
スマート スピーカー 連携設定	(☞ 右記 [別表 11])	
Netflix 設定	ESN 表示 / ログイン設定の 初期化	ESN 表示： ESN 情報が表示されま す。 ログイン設定の初期化： はいを選択して[決定] を押すと、ログイン設定 が初期化されます。
ネットワーク サービス情報 の初期化	はい/いいえ	動画配信サービスのログ イン情報などを削除しま す。 ※ Netflix など、一部初 期化されない動画配信 サービスがあります。

[別表 9] ネットワーク接続設定

設定項目	切換項目	設定内容
かんたんネッ トワーク設定	—	はじめてネットワークの 設定をするときや、ネッ トワークの設定をし直す ときなどに、設定します。 (☞ 取扱説明書 36 ページ)
詳細設定	(☞ 54 ページ [別表 12])	
接続テスト	—	「ネットワーク設定」が正 しいかテストします。テ ストが終わると「接続テ スト結果」画面が表示さ れます。「インターネット に接続できました。」と表 示された場合は、「決定」 を押します。
ネットワーク 情報	—	ネットワークの情報を表 示します。

[別表 10] 外部連携設定

設定項目	切換項目	設定内容
リモート電源 オン設定	外部機器から電 源オン/外部機 器を電源オン	本機のリモート電源オン 機能を設定します。 (☞ 46 ページ)
本機の名称	—	ホームネットワークに接 続された機器から本機を 識別するための情報 (デ バイス名) を設定す ることができます。

[別表 11] スマートスピーカー連携設定

設定項目	切換項目	設定内容
スマート スピーカー 連携	—	スマートスピーカーの連 携機能を設定します。ス martスピーカーの設定 をするアプリ上で、本機 に表示された 8 桁の連携 コードを入力します。
スマートス ピーカー連携 の解除	はい/いいえ	スマートスピーカーとの 連携を解除します。
電源待機中 の操作	受け付ける / 受け付けない	本機が電源待機中にス martスピーカーから電 源を「入」にする操作を 受け付けるかどうかを設 定します。
外部機器から の検出	検出に応答 する / 検出に応答 しない	Alexa スキルから本機を 操作対象として検出でき るようにするか否かを設 定します。設定後 Alexa に設定が反映されない場 合は、Alexa アプリから デバイスの再検出を行 なってください。
本機の呼称	テレビ / ハイセ ンス / ハイセン ステレビ	Alexa スキルから本機を 識別するための呼称を設 定します。設定後 Alexa に設定が反映されない場 合は、Alexa アプリから デバイスの再検出を行 なってください。

お知らせ

- スマートスピーカーは同梱しておりませんので、お客様ご自身で別途お買い求めください。
- 本機とスマートスピーカーを合わせて使用するとき、製品が見える場所でお使いください。
- 本機とスマートスピーカーは同一ネットワークで使用し、公共ネットワークでの使用または公共ネットワーク経由での使用はご遠慮ください。
- スマートスピーカーを設定するスマートフォンアプリで、「ハイセンス」を検索します。見つかったらリンクボタンをタップし、リンク画面に 8 桁の連携コードを入力してテレビとリンクします。



設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 12] 詳細設定

設定項目	切換項目	設定内容
接続方法	有線 LAN/ 無線 LAN	有線 LAN、無線 LAN のどちらで接続するかを設定します。
無線 LAN 設定	自動設定 / 手動設定 / 無線 LAN 設定の初期化	自動設定: (☞ 30 ページ) 手動設定: (☞ 30 ページ) 無線 LAN 設定の初期化: はいを選択し [決定] を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。
アドレス設定 (IPv4)	—	インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 (☞ 31 ページ)
IPv6 接続	利用する / 利用しない	IPv6 アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。 (☞ 31 ページ)
アドレス設定 (IPv6)	—	IPv6 で接続するときに、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。 (☞ 32 ページ)

放送受信設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタル設定	地上デジタルアンテナ設定 / 地上デジタルスキャン設定	(☞ 右記 【別表 13, 14】)
BS・110 度 CS アンテナ設定	—	衛星アンテナ電源供給： する / しない / オートを選択します。お買い上げ時は、 オート に設定されています。マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、 しない に設定します。
BS/CS 4K 設定	BS/CS 4K アンテナ設定	(☞ 右記 【別表 15】)
	BS/CS 4K 受信環境確認	現在の受信環境で BS/CS4K 放送が視聴できるか確認します。
リモコンボタン設定	チャンネルボタン設定 / チャンネルスキップ設定	(☞ 56 ページ 【別表 16, 17】)
データ放送設定	地域設定 / 郵便番号 / 文字スーパー表示 / 文字スーパー言語 / ルート証明書番号	● お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。 ● はじめての設定 で設定した状態から変更したいときに設定します。 ルート証明書番号 ： 双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書の番号を確認することができます。
ACAS チップ情報	—	ACAS チップの状態や ID 番号などをテレビ画面で確認することができます。

【別表 13】 地上デジタルアンテナ設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタルアッテネーター	オン / オフ	信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、 オン にします。
伝送チャンネル	—	電波の強さを確認するために、伝送チャンネルを選択します。

【別表 14】 地上デジタルスキャン設定

設定項目	切換項目	設定内容
初期スキャン	—	設定しているチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを設定しなおします。他の地域へ引越したときに必要です。
再スキャン	—	放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
自動スキャン	する / しない	本機の電源が「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。

【別表 15】 BS/CS 4K アンテナ設定

設定項目	切換項目	設定内容
衛星アンテナ電源供給	する / しない / オート	する ： 本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。 しない ： アンテナに電源を供給しません。 オート ： 必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。
トランスポンダ	—	衛星の故障ですべての放送が受信できなくなったとき他のトランスポンダに切り換えられます。通常は切換の必要はありません。
衛星周波数	—	衛星の故障ですべての放送が受信できなくなったとき他の偏波、周波数に切り換えられます。通常は切換の必要はありません。



設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 16] チャンネルボタン設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタル	-	お好みで、リモコンのワンタッチ選局ボタン [1] ~ [12] で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。 変更したいチャンネルを選択して、[決定] を押します。新しいチャンネルを選択して、[決定] を押します。
BS		
110度CS		
BS/CS 4K		

[別表 17] チャンネルスキップ設定

設定項目	切換項目	設定内容
地上デジタル	する / しない	[チャンネルへ] / [チャンネルへ] で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。 飛ばしたいチャンネルを選択して、[決定] を押します。続けて操作ができます。
BS		
110度CS		
BS/CS 4K		

初期設定

設定項目	切換項目	設定内容
はじめての設定	-	引越などで、はじめての設定をし直すときなどに設定します。 (☞取扱説明書 35 ページ)
かんたんネットワーク設定		はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに設定します。 (☞取扱説明書 36 ページ)

その他の設定

設定項目	切換項目	設定内容
視聴制限設定	放送視聴制限設定 / インターネット制限設定 / 暗証番号設定 / 暗証番号削除	(☞ 右記 【別表 18】)
外部入力・HDMI 連動設定	外部入力設定 / HDMI 連動設定	(☞ 58 ページ 【別表 19】) (☞ 59 ページ 【別表 20】)
詳細機能設定	省エネ設定 / 電源 LED 表示設定 / リモコン設定	(☞ 60 ページ 【別表 21】)
ソフトウェアのダウンロード	自動ダウンロード / ソフトウェアの更新確認	自動ダウンロード： するにすると、電源が「切」のときに、デジタル放送またはネットワークから、新しいソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新します。[青]を押すと、ダウンロード日時を表示します。 ソフトウェアの更新確認： ソフトウェアの更新情報が確認できます。自動ダウンロードができない場合など、最新のソフトウェアをダウンロードして更新します。
本機の情報※	—	本機の情報を確認することができます。
ソフトウェアのライセンス情報	—	本機に組み込まれたソフトウェアのライセンス情報を確認することができます。

※ 43A65H/50A65H/65A65H では「本機の情報」における形名は 43A6G/50A6G/65A6G で設定しております。

設定の初期化	初期化 1 / 初期化 2 / すべての初期化	初期化 1： 地上デジタルスキャン設定、リモコンボタン設定、自動削除設定、暗証番号入力が必要な設定は初期化されません。 初期化 2： 自動削除設定、暗証番号入力が必要な設定は初期化されません。 すべての初期化： すべての情報をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報情報を消去します。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。
--------	-------------------------	--

【別表 18】 視聴制限設定

設定項目	切換項目	設定内容
放送視聴制限設定	4 歳～20 歳（制限しない）	暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。 視聴許可年齢制限の設定された番組に対して、視聴を制限する年齢を設定します。
インターネット制限設定	制限する / 制限しない	暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。 制限する： ネットワークサービスを使用するとき、暗証番号の入力が必要になります。 制限しない： ネットワークサービスを使用するとき、暗証番号の入力により、制限をかけるかの設定をします。
暗証番号設定	—	使用したい暗証番号を数字 4 桁で入力します。変更する場合は現在の暗証番号を先に入力します。
暗証番号削除	—	暗証番号の設定を削除します。現在の暗証番号の入力が必要です。



設定メニューから設定をする (つづき)

[別表 19] 外部入力設定

設定項目	切換項目	設定内容
外部入力表示設定	ブルーレイ / DVD / VTR / CATV / ゲーム / チューナー / PC / ムービーカメラ / 表示しない	入力切換をしたときに表示される機器の名称 (ブルーレイ、DVD など) を変更することができます。 (外部入力端子毎に設定できます。)
外部入力スキップ設定	する / しない	入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする (飛び越す) ことができます。飛ばしたい入力を選択して、 [決定] を押します。続けて操作ができます。 (外部入力端子毎に設定できます。)
HDMI 自動画質モード設定	コンテンツ連動オン / 自動ゲームモード / オフ	HDMI 入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。 (HDMI 入力端子毎に設定できます。) コンテンツ連動オン: 入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。 自動ゲームモード: 入力映像が RGB 信号の場合に、映像メニューが自動的に ゲーム になります。 オフ: この機能は動きません。
RGB レンジ設定	オート / フルレンジ / リミテッドレンジ	本機に HDMI 入力の RGB レンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。 (HDMI 入力端子毎に設定できます。) オート: 自動切換になります。 フルレンジ: RGB レンジが 0 ~ 255 の機器の場合に選びます。 リミテッドレンジ: RGB レンジが 16 ~ 235 の機器の場合に選びます。

HDMI * モード選択	高速信号モード / 通常モード / 互換性優先モード	現在選択している入力に接続中の HDMI 機器からの映像が正しく表示されないときに切り換える設定です。 [*] は現在選ばれている HDMI 入力の番号になります。 高速信号モード: 4K 映像に対応している機器からの 4K 映像をより高精細に再生するときを選びます。 通常モード: 「高速信号モード」で映像や音声が入力されるときに選びます。 互換性優先モード: 「通常モード」で映像や音声が入力されるときに選びます。 ※ 4K 映像信号には対応していません。
HDMI * ALLM設定	有効 / 無効	ALLM (Auto Low Latency Mode) 設定を切り換えることで、選択している入力機器からの情報に連動して、自動的に「低遅延モード」の設定を切り換えることができます。 [*] は現在選ばれている HDMI 入力の番号になります。 有効: 入力機器からの情報に連動して、低遅延モードのオン / オフが自動的に切り換わります。 無効: この機能は動きません。 ※ 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。
Dolby Digital Plus 入力設定	連動する / 連動しない	HDMI 端子の入力設定を Dolby Digital Plus 対応サウンドシステムと連動するかどうかを設定します。 連動する: 本機の HDMI 入力 1 (ARC) 端子に接続した Dolby Digital Plus 対応サウンドシステムに適した音声設定を、本機の HDMI 入力端子に設定します。 連動しない: 本機の Dolby Digital Plus 設定で動作します。

その他の設定（つづき）

<p>ビデオ音声 入力設定</p>	<p>ビデオ音声 / HDMI2 アナログ音声</p>	<p>映像はHDMIケーブルで、音声は音声ケーブルで出力する機器を本機に接続する場合、HDMI入力2にHDMIケーブルを接続するとともに、ビデオ入力（音声）端子に音声ケーブルを接続して、本設定を「HDMI2 アナログ音声」に設定してください。</p> <p>ビデオ音声： ビデオ入力の音声入力端子として使用します。（お買い上げ時の設定）</p> <p>HDMI2 アナログ音声： HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。</p>
------------------------------	-------------------------------------	---

〔別表 20〕 HDMI 連動設定

設定項目	切換項目	設定内容
<p>HDMI 連動機能</p>	<p>使用する / 使用しない</p>	<p>本機のリモコンで HDMI 連動機器操作、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。</p>
<p>リモコン動作 モード</p>	<p>テレビ優先 / 連動機器優先</p>	<p>本機からの操作に対応した HDMI 連動対応機器を接続している場合、連動機器優先に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。</p>
<p>連動機器→ テレビ入力 切換</p>	<p>連動する / 連動しない</p>	<p>連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。</p>
<p>連動機器→ テレビ電源</p>	<p>連動する / 連動しない</p>	<p>連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。この機能と、連動機器→テレビ入力切換を連動するに設定しておくこと、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。</p>
<p>テレビ→連動 機器電源オフ</p>	<p>連動する / 連動しない</p>	<p>本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です。（録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります）本機の省エネ設定やオフタイマーとも連動します。</p>
<p>サウンド システム連動</p>	<p>連動する / 連動しない</p>	<p>テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。</p> <p>連動する： サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整を使用するときを選びます。</p> <p>連動しない： サウンドシステムのスピーカー切換や音量調整を使用しないときを選びます。</p>



設定メニューから設定をする (つづき)

電源オン時優先スピーカー	テレビスピーカー / サウンドシステム	本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。 サウンドシステム連動を連動する に設定した場合に設定できます。 テレビスピーカー： 本機のスピーカーから音声が出ます。 サウンドシステム： テレビの電源をオンにしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。
サウンドシステム音声入力	HDMI1 / HDMI2 / HDMI3	オート / 入力1 固定～ 入力6 固定 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。 例： HDMI 2 入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力3」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、 HDMI 2 を選んで [決定] を押してから、入力3固定を選んで [決定] を押します。
機器操作メニュー自動表示	使用する / 使用しない	使用する に設定すると、本機に接続したHDMI連動(CEC)対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

[別表 21] 詳細機能設定

設定項目	切換項目	設定内容
省エネ設定	(☞ 右記 [別表 22])	
電源LED表示設定	点灯 / 消灯	テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。 ※テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」(お買い上げ時の設定)で使用することをおすすめします。 消灯 に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、その後消灯します。
リモコン設定 (操作無効設定)	有効 / 無効	リモコンの放送選択ボタン、地デジ/BS/CS/4Kのうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

[別表 22] 省エネ設定

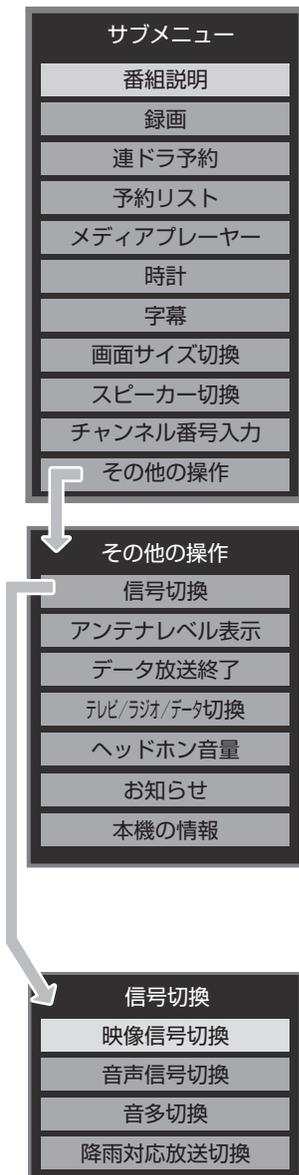
設定項目	切換項目	設定内容
節電モード	標準 / 節電 1 / 節電 2	液晶画面のバックライトの明るさを抑えることで本機の節電ができます。 標準： 標準の明るさです。 節電 1： 画面の明るさを「標準」よりも抑えて、節電します。 節電 2： 画面の明るさを「節電 1」よりも抑えて、さらに節電します。
番組情報取得設定	取得する / 取得しない	番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、 取得する でを使用することをおすすめします。 取得する： 電源が「待機」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 取得しない： 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。
無操作自動電源オフ	待機にする / 動作しない	待機にする： 本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。 動作しない： テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。
オンエアー無信号オフ	待機にする / 動作しない	外部入力を選んでいるときは機能しません。 待機にする： 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。 動作しない： 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
外部入力無信号オフ	待機にする / 動作しない	待機にする： 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。 動作しない： 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

サブメニューについて

- [サブメニュー] を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、[サブメニュー] を押すときの、使用状況によって変わります。

【表示例】

デジタル放送のテレビ番組を
視聴中



サブメニュー

設定項目	内容	ページ
番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。	6 ページ
録画	録画ができます。	18 ページ
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。	19 ページ
予約リスト	予約リストを表示します。	21 ページ
メディアプレーヤー	動画、写真を再生するメディアプレーヤーを起動します。	37 ページ
時計	時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。	2 ページ
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。	10 ページ
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。	10 ページ
スピーカー切換	本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。	43 ページ
チャンネル番号入力	チャンネル番号を入力して選局します。	4 ページ
その他の操作		
アンテナレベル表示	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。	取扱説明書 23～25 ページ
データ放送終了	データ放送の視聴を終了します。	6 ページ
テレビ／ラジオ／データ切換	視聴する放送メディアを切り換えます。	7 ページ
ヘッドホン音量	ヘッドホン出力設定が音声同時出力モードのとき、本機に接続したヘッドホンの音量の調整ができます。	51 ページ
お知らせ	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。	65 ページ
本機の情報	本機の情報を確認することができます。	57 ページ
信号切換		
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。	11 ページ
音声信号切換	一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。	11 ページ
音多切換	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。	11 ページ
降雨対応放送切換	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。	11 ページ

● 故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください

- ・アンテナ線や電源コード、その他の接続
- ・入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません

本機内部からの動作音

電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。

「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まったく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

使用していないのに温まる

使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

リモコンを操作しても反応しないことがある

システムの準備が完了していない場合、リモコン操作が遅れることがあります。

しばらく待って再度操作してください。

テレビが操作できなくなったとき →テレビをリセットする

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 1分以上待つ
- 3 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

本体の電源ボタンを長押ししてリセットする

- 1 テレビ本体の電源ボタンを4秒以上押し続ける
- 2 本体下面の「電源」の表示ランプが点滅したら、電源ボタンから手を離す

しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

原因と解決法

操作

●電源が入らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込みます。	—
電源コードが本体から抜けていませんか。	電源コードのコネクターを本機背面の AC INPUT 端子に接続します。	取扱説明書 28
電源ランプが消えていませんか。	本体の電源ボタンを押して電源を入れます。 ※ 電源ランプが消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。	取扱説明書 12
電源ランプが赤色に点滅していますか。	電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。	—
電源ランプが赤色／白色に交互に点滅していますか。	ソフトウェアの更新を行っているため、電源ランプの点滅が終わるのを待ってから操作してください。	—

操作（つづき）

●リモコンで操作ができない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。	障害物を取り除きます。	取扱説明書 18
リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池に交換します。	
リモコンの乾電池の向き（+、-）が合っていますか。	向き（+、-）を確認し、正しく入れてください。	

映像

●放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。	アンテナ線を確認して正しく接続します。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。	取扱説明書 23 ～ 25
アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。	確認して、まっすぐにします。（折らないようにご注意ください）	—
アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。	アンテナ線を交換します。	—
レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。	アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。アンテナ線を分配して接続します。	—
電波が弱くありませんか。	アンテナレベルを確認します。	取扱説明書 23 ～ 25
	アンテナの向きを調整してみます。（販売店にご相談ください）	
アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていたりしていませんか。	確認して、しっかりと接続します。	—
アンテナ線（端子）がさびていませんか。	販売店にご相談ください。	—

●接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
機器が正しく接続されていますか。	確認して正しく接続します。	取扱説明書 29 ～ 34
機器の電源がはいっていますか。	機器の電源を入れます。	—
接続した機器の入力に切り換えましたか。	リモコンの【入力切換】で、外部機器を接続した入力端子を選びます。	36

●画面が暗い、または暗くなる時がある

確認すること	解決法・その他	参照ページ
部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。	明るい部屋では、 ダイナミック や 自動 を選択してみます。	10
	バックライト や 画面の明るさ で適切な明るさに調整します。	48
映像メニューが 自動 の場合、明るさセンサーの前に障害物はありませんか。	明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。 ※ 映像メニューが 自動 の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。	48

●色がおかしい

確認すること	解決法・その他	参照ページ
お好みの映像メニューや映像調整になっていますか。	視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 お好みの映像に調整することもできます。	48

故障かな？と思ったら（つづき）

音声

●音が出ない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
音量が最小になっていませんか。	[音量+] で音量を上げます。	2
画面に「消音」マークが表示されていませんか。	[消音] または [音量+]/[音量-] で、消音を解除できます。	2
音声出力になっていませんか。	サブメニューのスピーカー切替でテレビスピーカーに設定します。	61

地上デジタル放送

●地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。	サブメニューのその他の操作のアンテナレベル表示でアンテナレベルを確認します。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。	61
初期スキャンをしましたか。	初期スキャンをします。	55
お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	一般社団法人 放送サービス高度化推進協会のホームページ (http://www.apab.or.jp/) で確認することもできます。	-
共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。	CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)	-

BS・110度CS デジタル放送

●BS・110度CS デジタル放送が映らない、または映像が乱れる

確認すること	解決法・その他	参照ページ
アンテナ接続に分配器を使用していますか。	分配器は「全端子通電型」のものを使用します。	取扱説明書 20
有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。	-
マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。	視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。 ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます。(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ) BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。	取扱説明書 23～25
テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、Wi-Fi機器(アクセスポイントを含む)などの無線機器を使用していませんか。	左記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。	-
衛星アンテナ電源供給設定がしないに設定されていませんか。	BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。 衛星アンテナ電源供給がオートまたはするに設定されていることを確認してください。 ※ アンテナショートを検出した場合、設定を自動的にしないに変更する場合があります。	55

番組表

●番組表に内容が表示されない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
電源プラグを抜いていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。	—
	番組情報の取得の操作をします。	8

●番組表の文字が小さい

確認すること	解決法・その他	参照ページ
—	番組表を表示中に【赤】を押して、文字の大きさを変更することができます。	6

●放送局のすべてのチャンネルが表示されない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
1 チャンネル表示にしていますか。	番組表のサブメニューでマルチ表示を選択します。	9
チャンネルスキップ設定でスキップするに設定していませんか。	チャンネルスキップ設定でしないに設定します。	56

お知らせアイコンが何度も表示される

確認すること	解決法・その他	参照ページ
「お知らせ」の内容を確認しましたか。	サブメニューの お知らせ で内容を確認します。 ※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、【画面表示】を押したときにアイコンが表示されます。	61

録画・再生

●USBハードディスクが使用できない（認識されない）

確認すること	解決法・その他	参照ページ
本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。	本機で接続確認済のUSBハードディスクは、ハードディスクメーカーのホームページをご確認ください。 ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。	—
機器が正しく接続されていますか。	「USBハードディスクを接続する」に従って、正しく接続します。	取扱説明書 29
機器の電源がはいっていますか。	USBハードディスクの電源を入れます。 ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	—
機器が本機に登録されていますか。	USBハードディスクを本機に登録します。	14
USBハブを使用している場合、本機で使用できるようになっていますか。	USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。	取扱説明書 29

●録画ができない、または録画されなかった

確認すること	解決法・その他	参照ページ
USBハードディスクの残量が足りていますか。	残量を確認する。	26
	不要な番組を削除する。	26
	自動削除設定を削除するに変更する。	27
コピー禁止の番組ではありませんか。	録画はできません。	—
外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。	本機は左記の番組や映像の録画には対応していません。	16
予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。	本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。 ※ その他の録画設定の放送時間を連動するに設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。	22
連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。	その他の録画設定で「追跡キーワード」を正しく設定します。 ※ 1回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除します。	19

故障かな？と思ったら (つづき)

録画・再生

●録画ができない、または録画されなかった (つづき)

確認すること	解決法・その他	参照ページ
「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。	サブメニューの お知らせ で内容を確認します。 ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。	61

●録画した番組が消えた

確認すること	解決法・その他	参照ページ
自動削除設定が削除するになっていませんか。	自動削除設定を 削除しない に設定する。	27
	消したくない番組を保護する。	27
録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きましたか。	録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。 ※ 左記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。	18
	録画番組を修復するの操作をすれば、録画された内容を再生できるようになる場合があります。	26
録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。	録画リストの分類タブを [◀◀]/[▶▶] で「すべて」に変更する。 ※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。	23

HDMI 連動機能

●機器を接続しても連動動作ができない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
接続は正しいですか。	HDMI ログ表示のついた規格に合った HDMI ケーブルで正しく接続します。 ※ はじめて HDMI 連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。	取扱説明書 34
本機と接続機器の設定は正しいですか。	接続機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください) 本機の その他の設定 にある HDMI 連動設定 を確認します。	59

●オーディオ機器 (サウンドシステム) に接続されているスピーカーから音が出ない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
接続は正しいですか。	HDMI ケーブルで接続する場合は、HDMI ログ表示のついた規格に合った HDMI ケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。	取扱説明書 32
	ARC 対応のオーディオ機器は HDMI 入力 1 (ARC) 端子に接続してください。	取扱説明書 33
接続機器側の設定は正しいですか。	オーディオ機器側の連動設定を確認します。(機器の取扱説明書を参照してください)	—
本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。	HDMI 連動設定のサウンドシステム連動を連動する に設定します。 また、 HDMI 連動設定の電源オン時優先スピーカーをサウンドシステム に設定しておく、テレビの電源をオンにしたときに、オーディオ機器のスピーカーから音が出ます。	59
	サブメニューの スピーカー切替 で 音声出力 に切り換えます。	61

ネットワークサービスが利用できない

確認すること	解決法・その他	参照ページ
プロバイダーなどのインターネット利用契約はお済みですか。	契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。	—
	ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。	34
接続や設定は正しいですか。	確認して、正しく接続・設定します。	30
ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。	ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。	—
本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	「IPアドレス」を 自動取得 に設定します。	31

● エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	参照ページ
「電波の受信状態が良くありません。 [サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	降雨対応放送に切り換えることができません。	61
「放送が受信できません。 1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見たい放送（[地デジ] [BS] [CS]）ボタンを押してください 3. リモコンの【青】ボタンを押して、アンテナレベルを確認してください お問い合わせ先を確認する場合は、【赤】ボタンを押してください。コード：E202」	アンテナが放送に適合していない。	放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。	取扱説明書 20
	アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。	アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください）	—
	BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。	BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。	55
	アンテナの方向ずれや故障。	アンテナの状態や接続を確認します。（販売店にご相談ください）	55
	電波が弱くて視聴できない。	—	—
	雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。	—	—
4K 放送の右旋円偏波の電波のみしか受信できない環境で、左旋円偏波の電波の放送局を受信した。	SH マークのついた BS・110度CS の4K 放送に対応した BS・110度CS アンテナ設備が必要です。	—	
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。	番組表などで放送時間を確認します。	—
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。	番組表などでチャンネルを確認します。	—

USB ハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	参照ページ
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。	接続を確認します。	—
	USB ハードディスクの電源が切れている。	USB ハードディスクの電源を入れます。	—
	USB ハードディスクにエラーが発生した。	USB ハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。	再生できません。	—
	再生時にテレビとUSB ハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。	テレビとUSB ハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。	—
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。」	テレビとUSB ハードディスクと通信に障害があった。	テレビとUSB ハードディスクの電源を入れ直してみます。	—
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。	録画番組を修復するの操作をしてみます。	26
「USB 端子の電源容量を超えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USB バスパワーで動作する USB ハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。	以下の手順で復帰させます。 ① 本体の電源ボタンで電源を切る ② USB ハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約 10 秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USB ハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USB ハードディスクに AC アダプターを接続してください。	—

BS・110 度 CS の 4K 放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他	参照ページ
「8K 番組は視聴できません。」	本機は 8K 放送に対応していません。	—	—

サポートセンター

フリーダイヤル：0120-835-111

受付時間：365 日 9:00 ~ 18:00

FAX：0570-06-1117(有料)

メールフォーム：<https://www.hisense.co.jp/contact/>

ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号

<https://www.hisense.co.jp>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Corporation